

上海市の通稱地名について

藤 島 範 孝

1. 通稱地名の構成

中国大陸の地名には各れの地域にも自然条件の特性と史的背景と居住地域民族の生活様式に格差があって、現在の呼稱の他に別名があり俗稱があり通稱がある。上海市域の都市形成過程から謂うと地名の定着化は大きく分けて2つの形があるように思う。1つは長江三角洲 (Chángjiāng Sānjiǎozhōu)^① の拡大発展とともに開拓前線が東進して、荒蕪地河畔を中心に所謂河畔集落が形成された事である。他地方と同様に地形的特徴や姓氏^{せいし}庄名^{しょうめい}的な地名が出発点となる。地名確立以前は通稱である。三角洲の特徴として方位呼稱地名が大地区区分に用いられる。拡大な荒蕪地の区分手法なのであろう。一般的ではあるが河の北、山の南といった位置関係地名も多い。占星術や風水といった俗信から地名へ転訛することも多い。上海市区の自然地名としては淀^{ていりゅう}渚^{ちゅうえん}低地 (Diànmǎo Dīdì)^② や上海^{ちやうえん}蝶^{せいし}縁^{しやうめい}高地 (Shànghǎi Diéyuán Gāodì)^③ や上海濱海平原^④ (shànghǎi Bínhǎi Píngyuán) がある。平坦地であるため山地地名少ないが50~100m級の山地がある。北^{ほくかん}竿^{さん}山^⑤、鳳^{へきざん}凰^{ざん}山^⑥、薛^し山^{ざん} (xuē shān)^⑦、佘^し山^{ざん} (shè shān)^⑧、鐘^{とう}賈^か山^{ざん} (zhōngjiǎ shān)^⑨、機^じ山^{ざん} (jī shān)^⑩、天^{てん}馬^ま山^{ざん} (Tiānmǎ shān)^⑪、横^{へい}山^{ざん} (Héng shān)^⑫、小^{せう}崑^{くん}山^{ざん} (Xiǎokūn shān)^⑬、辰^{しん}山^{ざん} (chén shān)^⑭、秦^{しん}望^{わん}山^{ざん} (Qínwàng shān)^⑮、查^{ちや}山^{ざん} (Zhā shān)^⑯、淀^{てん}山^{ざん} (Diàn shān) など山岳地名を例にとると所謂大陸風の地名が付けられている。しかし、もう1つの地名は通稱地名或は都市発展過程における仮稱地名がある。急速な港湾都市の発展と西欧諸国の租界地の形成で通稱や呼稱で地域区分をする必要にせまられ、

上海市の通稱地名について（藤島）

本来多くの地名が自然発生的な形態をもつのが一般的であるが、市街地の展開に追い付けず国内外の地名を蒐集し街坊に当筈めた。本来あるべき史的過程を無視し突然上海市に西藏路や広東路が誕生した。蒐集命名には勿論一定の基準があったものの大陸他都市には例がない。従って茲では第2の例である通稱地名に就いて広義の解釈をもって扱って見る。ただ、上海市の市区内の地名全てが第2の通稱地名かという点、第1の自然発地名も県城を中心とした旧市街地には多いので全てを通稱という訳にいかぬが、旧市街も都市の再編などがあって今は用いられぬ旧地名がいくつかある。そこで、これも亦、国内外の地名と旧稱地名と租界地の消失地名を仮稱地名などを、通稱地名として註解を加えて見る。

上海市は1928年上海特別市に指定区画されるまでは江蘇省の松江県の東34kmに位置する上海県の地であった。漢代は海塩と婁の地区であった。南朝の梁、陳代には崑山、前京、胥浦等に県をおいている。元の至元14年（1277）に華亭府を置き治所を松江府としている。同29年には華亭県^㉑の東部に上海県を置いている。明代には江浙省松江府に入れ俗稱地名として上海道とし、治所を上海県城に置いている。同治初年には大平天国の蘇福省が置かれた。清代は蘇松太道の名稱を用いている。乾隆6年（1741）蘇松道の治所を上海県としている。同25年（1760）蘇松道、嘉慶16年（1811）再び蘇州、松江の両府を置き、太倉を直隸州とし別に松江府管轄として11県1撫民庁を置いている。これらの県は華亭県、婁県（順治13年華亭県の西南に接して置く）、上海県（道光23年南京条約に據り五口通商の一商埠）、青浦県^㉒、福泉県（雍正2年青浦県の北境に置いたが、乾隆8年廃止）、南匯県^㉓（雍正3年上海県の浦東の長人郷に置く）、金山県^㉔（雍正4年婁県の南境におく、治所は金山衙、乾隆24年治所を朱涇へ移す）、奉賢県^㉕（雍正3年華亭東南庁へおき、治所を奉城とした）、川沙撫民庁^㉖（嘉慶15年上海、南匯両県の県境）。嘉定県^㉗（雍正3年富民等の滬海門庁）が上海市圏内に含まれることになる。太平天国の10年（1860）既述した如く蘇福省と

上海市の通稱地名について（藤島）

なり、この地方は松江郡（治所は華亭）の管轄となり一部改名が行われる。上海県を尚海県、華亭県を花亭県、青浦県を菁浦県、金山県を金柵県、宝山県[®]を宝柵県とし、太倉郡も太滄郡とし表記を変えている。中華民国となり大区分の地区は江蘇省となって、1914年に滬海道^{こかい}を置き清代の松江府、太倉直隸州、海門庁を管轄としている。県でいうと10県で、太倉と海門は県扱いされていない。松江、上海、青浦、金山、南滙、奉賢、（1912年治所を南橋へ移す）、川沙（1912年撫民庁を県とする）、嘉定、宝山、崇明[®]の各県を包含している。更に新しく淞滬商埠督弁公署が置かれ、1926年上海南、北市公所と吳淞商埠が合併し商埠局を設け、上海県全境（租界地除外）と宝山県、吳淞市、江湾、殷行、真如、彭浦、高橋の五郷を行政施行範囲としている。次年の'27年には上海市となり、国民政府の県屬地として7月7日に承認されている。県級の周辺地名から上海のみが突出して大地区地名扱いとなる。同時に行政区域の再編成が行なわれ、もと跨境5県管轄市郷30といていたが、これを2つの県と17の市郷に併合した大地名とする。上海県境の地とは滬南、^{きほく}閘北、蒲松、洋涇、塘橋、法華、楊思、陸行、高行、引翔港、漕河涇の諸地を指している。もとの宝山県の吳淞、江湾、殷行、真如、南翔、高橋を併せて「区」域に総括し上海市の行政区域に編入している。1930年再び上海県と改名し、直隸行政院が置かれ管轄範囲を定めている。これは1927年区分が基礎である。ただ、英米租界の公共租界を「第1区」、仏蘭西租界（以後仏租）を「第2区」としている。1945年8月日中戦争の勝利を契期として租界置は黄浦区[®]に統合されている。次年の区画が今日の上海の枠組を構成したと謂う。20区区分している。黄浦、老閘、邑廟、蓬萊[®]、嵩山、常熟、長寧、新成、静安、江寧、普陀[®]、閘北、北站、虹口、榆林、盧家湾、徐家湾、提籃橋、楊樹浦、北四路とする。更に郊区12を設定している。新市街、江湾、吳淞、大場、新涇、竜華、馬橋、塘湾、楊思、洋涇、高橋、真如などで合計32区が誕生した。のち、1950年年以降嘉定、松江、金山衛、閔行などの郊外鎮を併合して不断に拡

上海市の通稱地名について（藤島）

大するが、所謂上海市圏内とは上述の32区が中軸である。

上海市の成立、都市形成過程からみると、上海市の最初の都市核は南市の旧呉城区にあって東洋式都市の典型であった。それが南京条約による強行開港で商業港湾都市に変質させられ、西欧文明はブルドーザー開発効果を齎らして租界という不動産屋を出現させる。この西欧文明の侵害を基盤として上海大都市圏が立地する。東西文明の衝突が都市構造形態をとらせた見るべきである。隋唐代の記録では南市旧城区は漁村である。中国式の大集落に発展するのは宋代である。酒税を徴収する上海務が設置されている。この後、呉淞江中流が土砂堆積と地殻隆起運動によって流れが閉塞し細流となり、青竜鎮港湾への船舶の出入ができなくなって、長江との接点である上海浦が江南の玄関として、外海から入航する仲継港湾地となる。船舶の多くは南市区の十六舖^{セロツポ}付近へ集積し、商船の出入りで商業集市と化する。南宋の咸淳3年（1267）上海鎮となる。青竜鎮にあった市舶分司も上海鎮へ移った。元代の初めには市舶司が置かれ市舶税務の管理を行なっている。至元29年（1292）に上海県、明の嘉靖32年（1553）現在の人民路と中華路のところへ寇対策の築城をしている。清の道光23年（1843）南京条約に據る開港、同25年英国領事が洋涇浜（のちの延安東路）北側へ英租界の基点を造成する。同28年には米国が虹口一帯に米租界を設定、翌29年に旧呉城の北側、丁度松江と旧呉城の中へ割り込むように狭長い仏租界を造成する。同治22年には英米両租界が併合し公共租界となり、東は周家嘴、南は延安中路、西は静安寺まで意図的に拡大する。仏租界も南は肇嘉浜、西は徐家匯まで、境界拡大のための施設を造成し乍ら拡大する。のち、租界地の回収を行うが既に嘉定、松江、金山衛、閔行までが上海市の郊区外縁の衛衛星都市として西欧文明の席捲を受けていた。

上海市は旧呉城区と租界と港湾と外縁地区によって構成されている。特に急速な西欧文明による都市化のため伝統的江蘇地区と上海市の境界の設定にも各地の史的事情をかかえているだけに虫食状で区分せざるを得なかつ

上海市の通稱地名について（藤島）

た。1927年の上海市の設定でしばしば境界紛争が起きているが、都市と郊区と郊外と調整区域などの概念が不十分のまま建築物と人口の集中化が進んだものと見る。これは亦、都市区内に生活するか、郊外に生活するか、居住者にとっては興業労働者か農民かの違いを生み出し生活条件が全く変わったのである。郊外農民の万元戸は出現したが、豊かな工員は生れなかった。これら境界域にも觸れ地名の呼稱か如何に居住者の生活を規定して来たかを少し探索してみようと考え。解放後は中国の三大直轄市となり大上海圏を形成する、(のち重慶市が直轄市に昇格四大都市となる) この上海市は都市化の進展とともに古い地名を放棄し、新し街区の地名を命名し、正式地名として承諾されるや、再び旧名を復活したりして複雑きわまりない。殊に租界時代西欧人名を漢語表記をとり、やがて放棄する過程を追いかけると厄介である。しかし、都市発展過程の記録としては、ある意味で上海市の文化遺産であると思われる。これらの所謂史的プロセスを経た地名を通稱地名として扱うものとする。なお、周知の如く上海市は上海白話によって発音されている。上海はzhánhe (ザンヘー) といい、南京路はNéujinlu (ヌージンルー)、北站Bôkzhae (ボッセー)、竜華はLónnhho (ロンオー)、黄浦江はHhuánpugan (ウアンプフーガン)、西藏路はXìzhanlu (シーザンル) 等と発音する。普通話で用いてない漢語表記や発音表記があるが各れも公的な拼音表記でない。従って、茲では特に上海語式の表記は採用しないものとする。

①拙稿；「上海市の古地名」駒大論集参照。1997.

②古淀山湖、泖湖等の大小湖沼をふくむ低洼地。別名を松金青低洼地ともいう。松江県、金山県、青浦県の頭文字をとったものである。

③拙稿；上掲「上海市の古地名」参考、拙稿；「中国地名の地誌学的研究」北海教育社

④拙稿；「上海市の古地名」参考及び拙稿；「上海市地名誌」中国地名解No.8.

⑤ (Běigān shān), 粗面岩山松江鎮西北、古く山上に竹あって「竹竿山」という。干山(天馬山)の北なので北干山ともいう。高抜42m。殷周代の古代遺跡がある。

上海市の通稱地名について（藤島）

- ⑥ (Fènghuáng shān) 松江鎮西北。余（し）山鎮の東，山の形が鳳凰が翼を広げた形に似るから山名となる。流紋岩，玄武岩山，海拔52m。
- ⑦別名雪山 (Xuě shān)，玉屏山 (Yùpíng shān) という。松江鎮西北。余山と対峙，東に鳳凰山，唐代に蒨道約という道士の居住地，海拔75m。粗面岩。
- ⑧松江鎮，余山鎮，古く余姓の人居住，清の康熙帝南巡，湖野山の笋（筍・たけのこ）食したので蘭笋山ともいう。東山2つの山あって東余山，西余山という，西余山高く98m。東は74m。流紋岩，正長斑岩，山頂に天文台と天主堂ある。山麓に地震台あり。
- ⑨松江鎮，天馬郷，古く鐘と賈の両姓の人が居住。別名鐘家山，雲間九峰の間なので中界山ともいう。海拔54m。流紋岩。
- ⑩小機山，小鳩山ともいう。晋の文筆家陸機の居住地，海拔40m。安山岩
- ⑪松江鎮，天馬郷，山の形が天馬の背のように見える山名となる。古く干姓の人居住干山ともいう。主峰99m。松江地区の諸峯の冠といわれる。熔凝灰礫岩など。西峰に攬珠塔。
- ⑫松江鎮，天馬郷。山の形が横を向く。晋の陸機の弟，陸雲居住，唐の天宝6年（747）横雲山と改名，海拔69m。流紋岩。森林繁茂。
- ⑬松江鎮。崑岡郷。晋代陸機，陸雲の兄弟居住。この地の人「崑岡より玉が出る」といい崑山という。南朝に崑山県，唐の天宝10年（751）馬鞍山に治所移し，のち馬鞍山を崑山という。古い方の崑山を小崑山という。海拔55m。花崗岩。
- ⑭別名神山。古く細林山，松江鎮，余山鎮，旧史には「位干辰次」とある。雲間九峰の東南方にあるので山名となる。海拔71m。熔凝灰角礫岩。
- ⑮別名秦駐山，秦皇山，金山県朱涇鎮，張堰郷，秦の始皇帝この山登って海を見た。秦皇馳道，飛来石の古跡ある。海拔32m，安山岩。
- ⑯俗名大石頭，金山県朱涇鎮，海拔23m。安山集塊岩。
- ⑰青浦鎮，青浦鎮，朱家角郷，宋代は淀山湖の中にあった小山。のち泥砂で湖岸とつながる。海拔17m。粗面質安山岩。
- ⑱華亭（かてい・Huátíng）三国呉は陸遜（呉の將軍孫策の婿）を華亭侯として封じている。その後陸遜の孫で晋代の文学者であった陸機が封じられている。陸機は陸遜の死を嘆いて「華亭の鶴唳（かくれい），復た聞くべけんか」といった地。華亭の地名は県西に華亭溪があったと唐代の記録にも残る。のち，華亭谷であったともいうが，今の嘉定県華亭郷は原名を華亭橋といったとされ，曾って海浜であった頃の華亭涇が流れ込んでいた処とされている。従って涇（河）名が起源。宋代には西浙路嘉興（かこう）府に属し，元は県になり治所の松江府をおく。明は南京（なんけい）省松江府の治所となる。清代は分けて婁県おき江蘇省松江府の治所，民国では婁県を併合し松江県としている。徐匯区の中程，漕溪北路と中

上海市の通稱地名について（藤島）

山西路の交差西北に、「華亭賓館」がある。

⑱青浦（せいほ、Qīngpǔ, チンプー）

上海市の西部、黄浦江の上浦。上海市管轄の県。松江県の西北25km、面積675km²。県の形蝶状。青浦、朱家角、練塘、金沢の4鎮20郷。県人民政府青浦鎮。漢の婁（ろう）県の地。梁以後は崑山（こんざん）の地。唐は華亭^{とうこう}県の地。元代には上海、華亭の2県に分かれた。明は分けて青浦県をおく。治所は唐行鎮とした。清は江蘇省松江府に入れる。1914年江蘇省滬海道に区画する。江蘇省青浦県の青海鎮（県の東北12km）俗にいう旧浦鎮の県城とは別である。

⑳南匯（なんわい、Nánhuì, ナンホイ）

上海市の管轄県、上海市東南部。東は東海。惠南、周浦、新場、大団、下沙の5鎮と25郷管轄。県人民政府惠南鎮。南匯と書いたが、のち南匯或は南汜と写す。明は南匯守禦所をおいて、金山衛に属させる。1958年上海市に帰属する。欽公塘東の海浜平原。海流と長江と錢塘江の水が、この長江口で交わりあうので、南の合流地点という意味で南匯の地名になったという。

㉑金山（きんざん、Jīnshān, チンシャン）

上海市に属する県名、上海市の西南部。南は杭州湾、西は浙江の嘉善と平湖の2県に接する。朱涇、張堰、亭林楓涇、呂巷の5鎮と14郷を管轄している。県人民政府は朱涇鎮。秦代は海塩県おき、西漢末に拓湖が陥没して、治所を浙江の平湖へ移している。唐の天寶10年（751）には華亭県に属す。明の洪武年間に金山衛城を造っている。南海中に大小の金山があったので地名となったという。1958年上海市に帰属する。低平地形。地面の高さ2.3～4m。

㉒奉賢（ほうけん、Fèngxián フォンシエン）

上海市管轄の県。上海市の南部、南は杭州湾。南橋と奉城2鎮と20郷管轄。松江県の東45km。古くは華亭県の地。宋は青村（せいそん）鎮、明は改めて青村守禦所をおく。清の雍正三年（1725）分けて奉賢をおく。1958年上海市に帰属する。長江三角洲の東縁。南は杭州湾の一帶の海岸平野。

㉓川沙（せんしゃ、Chuānshā チュウワンシャ）

上海市の管轄県、上海市北部、北は長江口、東は東海、県は城廂、楊思、高橋、北蔡の4鎮と26郷管轄、県人民政府は城廂鎮。元、明代に上海県地。古く八団鎮といい、下沙三場塩課司がおかれた。明の嘉靖年間城を築き、堡をおく。清は川沙庁とする。1958年上海市へ併合される。沿海に面して滞水地となり、周囲は硬い砂に囲まれて、川沙洼という地名であった。

㉔嘉定（かてい、Jiāding, チアテイン）

上海市の管轄県。上海市西北部。嘉定、南翔、安亭、婁塘の4鎮と17郷管轄。漢の婁（ろう）県の地。梁の信義県。隋、唐は崑山（こんざん）嚮城（りゅうじょ

上海市の通稱地名について（藤島）

う）郷とした。宋は分けて嘉定県両浙路，平山府とし，元は州に昇格させ江浙省平江（へいこう）路とする。南宋の嘉定10年（1217）嘉定城つくれたので嘉定を用う。地勢平坦。地面高さ3.8m。1958年上海市に帰属。

②⑤宝山（ほうざん， Bǎoshān， パオシヤン）

上海市管轄県名。上海市の東北部。西北は江蘇省太倉県。長江口の長興と横沙両島も含む。面積376km²。羅店，大場，楊行の3鎮と17郷が属する。人民政府は吳淞区友誼支路。明の永楽10年（1412）江伯の陳瑄が平定し，海運の将に命じて川沙県高橋の東北に海船の入航標式として築山つくる。高さ900m。周囲1,200m。宝山と稱した。明の成租御製碑がある。県の治所を設け吳淞牢護の御千戸所（宝山の旧城）といった倉州に属した。1958年上海市に帰属している。クリーク発達。地勢平坦。西高東低。

②⑥崇明（すうめい， Chóngmíng）

上海市の北部長江口にある島を崇明島という。崇明島と付近の諸沙洲を包括して崇明県としている。島の形は蚕の如しといい長形である。東西75km，南北14～18km。面積1,041km²。明の太祖の頃より記録がある。東海瀛州（えいしゅう）と呼んでいる。瀛州とは渤海にあると信じられていた仙（せん）島の一つである。北宋代には姚劉沙島といわれた。姚は美しいで，劉は劉海児の如しから来ているといわれる。伝説上の仙童劉海児の前髪をいう。清の初め開墾地となっている。いくつかの沙島から構成されていて，唐宗代は叠漲（じょうちょう）や三沙（さんさ）が用いられ，五代吳には崇明鎮を西沙（せいさ）におき海門県へ属させた。元は州を姚劉（ようりゅう）沙におき，のち東沙へ移す。面積は不断に拡大している。崇明は五代吳代命名で「漸積高広」の意から採ったといわれる。1958年上海市に帰属している。人民政府は城橋鎮にある。

②⑦黄浦区（こうほこう・Huángpǔ Qū），黄浦江の東，西兩岸，面積20.46km²，11の街道弁事処と洋涇鎮含む。浦西は上海県城の北端に接す。1845年北京東路以南，延安東路以北，河南中路以東，外灘の西全て「英租界」，1848年人民路北より延安東部の間「仏租界」，1945年「租界」回収，黄浦江より黄浦区とする。1956年老閘区併合，1960年もとの新成区の東部と邑廟区の北部併入。1961年もと浦東県を3街道弁事処として併入。1984年川沙県洋涇鎮と洋涇，嚴橋両郷の北部併入。政治，商業，貿易，金融，文化の中心地。浦東に工場地帯造成。黄浦の名稱は黄浦公園，黄浦江，黄浦江大橋，黄浦江トンネル，黄浦江航路，などに用いられている。

②⑧中国の地名に蓬莱（ほうらい）が多い。渤海の東方にある島，海上樂園と考えた。（「冲虚至徳真經四解」，「三才図会」）他に方丈，瀛州（えいしゅう）加え3神山といい不老不死の妙薬を産ずるとした理想郷，古くは更に2山加えて岱興（だいの）と員橋（いんきょう）の五神山があるとされた。徐福伝説とも重なる。渤海

上海市の通稱地名について（藤島）

沿岸に蓬萊城築き、唐代に蓬萊県があった。日本では富士山、熊野山、白山を蓬萊山という。台湾産の米は蓬萊米という。上海の蓬萊は東南部で1945年蓬萊区、1960年南市区と併合。

㊟普陀（ふだ、pǔtuó）普陀区は上海市管轄区の一つ。1945年吳淞江以南に区をつくる。東、西、北の三面吳淞江。南の安遠路と長寿路が境界となる。区の東南の普陀路より区名とする。普陀はもともと浙江省東北の県で、舟山群島の東南部にある。1953年定海より分けて普陀県とする。島には普陀寺がある。中国仏教の4大名山の1。山上に観音寺があり一名普渡（ふと）稱す。別名を梅岑（ばいしん）で梅福の名から出た。梵名を補陀落迦（フダラクキヤ）で小さい白い華の意。千歩沙、梵音洞、潮音洞がある。五台山、九華山、娥媚山と併せて仏教四大聖地。唐の大中12年（858）に日本人僧慧鑿が観音像の寺を建立している。上海市へ浙江や蘇州の人が多く集まり、特に浙江の人が仏教聖地の普陀を地名に用いたのは郷心ともとれる。普陀区の中央部に普陀新村がある。四村に分かれていたが新村として包括した。1956～1958年に建てた。

2. 大地区通稱地名

上海市区の設定期には四つの大地区地名があり、今日も通稱地名として用いられている。習慣性を重要視する中国では習慣地名とも謂う。この4つの大地区地名の成立については次の如き経緯がある。上海市に淞滬商埠督弁公署を設置し（1926）都市の繁栄と貿易商業の発展を願い上海市圏を設定したのである。最初は上海県全域と宝山県、一市五郷の他に他地区まで拡大を計り、江蘇宝山の大場、楊行の二郷を併合した。更に、松江、青浦県所属の七宝郷も合わせ上海特別市の枠の取決めを行った。次年度に成立した上海市政府が實際上管理したのは十七市郷となった。民国24年上海市年覧（土地人口編）には改名した十七市郷の名稱が記載されている。

原名の上海市を滬南市とし滬南区を設定した。以下同様に閘北市を閘北区。蒲淞市を蒲淞区。洋涇市を洋涇区。引翔郷を引翔区にしている。更に、法華郷^①を法華区に。漕河涇^②郷を漕涇区。塘橋郷^③を塘橋区。楊思郷を楊思区。高行郷^④を高行区。陸行郷を陸行区。吳淞郷を吳淞区。高橋郷を高橋区。殷行郷^⑤を殷行区。江湾郷を江湾区。彭浦郷を彭浦区。真如郷を真

上海市の通稱地名について（藤島）

如区としている。ところが、1937年8月になって上海市へ日本軍が上陸占拠し始めたので従来の行政区分に支障があるという理由で、上海市政府は市区内行政区分を改め細区分し、十七区と市北部を占拠している租界地区との調整を企ると謂い七区分方法を採用した。市中心区を滬北区（閘北区）、滬西区、南市区、浦^ほ東^{とう}北区、浦東南区、特別区（租界地）とした。1943年公共租界（英租界、米租界）と仏蘭西租界を日本軍が強制接收する。全市区を日本軍管轄下におくことが発表されるや、上海市区担当政府は直ちに行政区画を改めた。第1区は前公共租界地、第2区は市中心区、第3区は滬北区。第4区は滬西区、第5区は浦^ほ東^{とう}北区、第6区は浦東南区、第7区は南市区、第8区は仏蘭西租界地としている。翌1944年2月には第8区の仏蘭西租界地と第1区の公共租界地を合併している。続いて上海市庁は上海市区の32区分実施と32管轄分局制度を発表する。この行政区分は抗戦勝利後の日本軍撤退から明分化される。施行に当って馬橋区[®]と和塘区は設定したものの上海市行政圏区画としては未接收区であったので、上海市は30区で出発し、管轄することになった。上海市境の設定と市区圏の設定即ち上海市境の成立となる。設定区名は次の如し、第1区黄浦、第2区老閘区、第3区邑廟区、第4区蓬萊区、第5区泰山区、第6区盧家湾區、第7区常熟区、第8区徐家滙区、第9区長寧区、第10区静安区、第11区新成区、第12区江寧区、第13区普陀区、第14区閘北区、第15区北^{たん}站、第16区虹^{こう}口^{こう}区、第17区北四川路区、第18区提^{てい}籃^{らん}橋区、第19区榆^{ゆう}林^{りん}区、第20区楊樹浦区、第21区新市街区、第22区江湾區、第23区吳淞区、第24区大場区、第25区新涇區、第26区竜華区、第27区馬橋区、第28区塘湾區。第29区楊思区。第30区洋涇區。第31区高橋区、第32区真如区（但し予備区とする）。急速な都市化のため市区の拡大にせまられ周辺農村を蚕食し乍ら、圏設定をした。例えば上海西部の所謂浦^ほ西^{せい}部と呼稱される水郷地帯も都市化の影響を受け、新しい地名による囲い込みが行われた。囲い込みの前提には大地区名稱という地名があり習慣性地名として広く膾炙されている。同時に市区内の問

上海市の通稱地名について（藤島）

題として曾ての租界地が不断の拡大することに懸念をもっていた。恰も租界内部の行政について放置されるととられかねない社会的問題にも波及したりした。そこで、1900年に公共租界に4区設立させ方位名稱を冠せて管轄区の呼稱として意識をたかめている。第1に「北区」を設定、租界北部、虹口河以西。第2に「東区」は黄浦江以北の租界内部、虹口河^{ホンキョウ}以東。第3区に「西区」は滬城以西の租界部分、第4の「中区」は1899年以降の拡大した公租界地区であった。当然、第5の「南区」の設定があってもよいのであるが未設定であった。この公共租界の北、東、西、中の方位は上海市の旧城の南市核からの位置で方位を決定したものである。これら市区内の行政的^{行政的}名稱より古く上海市には一般的呼稱としての四大地域名があった。滬北、滬東、滬西、滬南である。滬中或は滬央という表現はなかった。滬北は租界の代稱で、租界区域を指した。最も早くから意識して用いられた事が多い。滬北も滬東も、滬西も地区名として用いられたが、境界線未定、範囲も概略としての把握でしかなかった。日本軍が上陸し占拠始めると、上海政府も行政区画整理と居住民の把握と地域社会の掌握の好機と考え、この四大地名を行政的^{行政的}な法定地名とする。

四大地区地名を上海市の分割基礎区分として、各地区の街道、道路区分の命名方式を決めていくことになる。道路区分や里弄^{りろん}命名にも幾つかの問題があった。先ず滬北の地区名があるが租界地の通稱であり、別稱であったが、古くから「閘北^{チャッペイ}」の呼稱があった。今も用いる。従って閘北の地区から見ると、閘北の別稱が滬北ととれる。閘北が地形を形成する以前は自治組織であったが、やがて「滬北工巡捐局」がおかれ、「北市政局」と改められる行政機関が誕生し「滬北^{こほく}」を地域名として固定化する。滬北と閘北は同一名稱のように用いられたり混用したり、とり換えられたりした。同一文章の中でも表現の都合で交互に或は換用したりすることが多かった。使用頻度数を計ることは今となつては至難であるが、実際は閘北の方が一般的で普及度も高かったといわれ、後には滬北、滬東、滬西などの地区区

上海市の通稱地名について（藤島）

分以外は閘北が滬北の代稱として用いられるようになる。地域名としての閘北（Zháběi）は清の康熙11年（1672）に福建路橋の近くに閘を建てた。後には老閘という。長い間壊れていたが、雍正13年（1735）再び大統路橋近く建てる。これを新聞という。これも壊れた。然し、新聞以北を通稱閘北となった。吳淞北の以北，西藏北路の以西，滬太路より上海鐵路に至るラインの以東を閘北といった。今の閘北区とほぼ同範囲である。続いて滬東であるが，黄浦江の下流河道で陸家嘴と蘇州河口に向い東北へ流路を変える弯曲地域を指している。浦西市区の東北域である。滬東の東端は「外泊橋渡橋」の東袂とも，虹口港の以東ともいわれたが，のち，一種の肯定区画だからといい公共租界の「東区」との境界を適用するものと決定した。滬東（Hùdōng）は最初1899年公共租界の東の周家嘴一帯までとした。その後，楊浦区の南部一帯も滬東と呼稱するようになる。地区名稱は拡大して1945年には滬東の範囲を提籃橋，榆林，楊樹浦の3区を併合し呼稱する。一般に黄浦江以西で上海市の東部の名稱としている。虹口港，沙涇港の以東，四平路，走馬塘の以南で黄浦江へ至る地区を指していると見てよい。

滬西は1927年以後包括される地区，つまり，蒲淞，法華，漕涇を併合しての呼稱となっている。日中戦争期の上海市の行政を握っていた汪政府が，市政府を設け滬西地区の3区を1区として扱っている。普陀，長寧，涂涇の3区である。漕涇区は当時上海市の南部に属すると思われていた。上海に於ける滬西は地域社会の構成が古く伝統的習慣について特有民俗がある。古い新聞などでは徐家滙，竜華，漕河涇も滬西と主張している。日中戦争時は滬西地区縮小され主要部としての普陀南部と長寧区東部が境界とされたこともある。漕涇区の涇松も一時属していた。滬西（Hùxī）は1899年公共租界の向いの西側，曹家渡と静安寺付近までを謂った。のち，中山公園付近も併合し，租界警区までの呼稱であった。今では習慣から中山公園以西で吳淞江一帯の通稱となっている。上海市の普陀区吳淞江以西と長寧区の滬杭鐵路の以西の呼稱ともいっている。扱て，次は滬南であるが広義

上海市の通稱地名について（藤島）

と狭義に分かれる。広義では南市を核とする上海城周辺の呼稱という。1928年上海市特別市設定以後、滬南は広義の解釈されるのが一般である。狭義の滬南は上海市の核に当たる部分で、特に南市の再開発以後新西区となる地区である。滬南(Hùnán)は1928年の設定南区をいう。東は黄浦江の南部、西と北は当時特区(仏蘭西租界)との境界。のち、この一帯の通稱となる。上海市の南市区と盧湾、徐家涯の2区と肇嘉浜路以南をいっている。

滬北(閘北), 滬東, 滬西, 滬南, の大地域名は上海市全域からみると浦西(pǔxī)に当たる。のち、浦東(pǔdōng)工業地帯, 経済特区の成立で大区分される。浦西はもともと黄浦江以西の各区を指し, 一般には黄浦江西岸地域をいう。浦西には滬北, 滬東, 滬西, 滬南の他に^{ひんなん}浜南(Bāngnán), ^{ひんほく}浜北(Bāngděi), 江湾(Jiāngwān)の地区を考慮せねばならない。浜南は明の嘉靖元年(1522)吳淞江から北新涇へ至る新道を開削するとき, もとの宋家浜を改めて東へ流し黄浦江へ流出させ, 黄浦江の支流とした。これ以降吳淞江以南の地区を浜南と稱している。範囲は黄浦区浦西の部分と静安区, 普陀区, 長寧区等各れも吳淞江以南を指している。浜北は一般に上海市の吳淞江以北の閘北と普陀の2区を指している。滬北, 閘北と重複する。江湾は上海市区の中心部中心地区の北側, 虹口区の江湾鎮と宝山県の江湾郷, 楊浦区の五角揚鎮の一地帯を指しているものといわれる。以上の浦西の大地域名と対象的に浦東がある。黄浦江の東側一帯の上海市区と川沙, 南匯の両県を指している。一般には高橋より周家渡ラインの楊浦, 黄浦, 南市の3区の黄浦江東部を指している。以上の如き大地域名稱は今日も用いられる。然し, 行政区画域が未決定の時代からの概念的呼稱ということもあって, 具体的な範囲と境界を提示できない部分もある。これらの大地域名を支えていた区名があるが, 既に旧名として扱われている区もある。県でも浦東県があったが旧名となっている。旧名の多くは租界の分界, 日本軍の占拠などとの関係がある。これら旧名は既に通稱地名として扱っていいのではないかと考えている。従って文中で扱って来た旧名

上海市の通稱地名について（藤島）

区を簡単に紹介するものとする。租界地区あった旧名区、老閘 (Lǎozhǎ), 嵩山 (Sōngshān), 常熟 (Chángshú), 江寧 (Jiāngníng), 新成 (Xīnchéng), 北站 (Běizhàn), 北四川路 (Běisìchuānlù), 提籃橋 (Tílánqiáo), 榆林 (Yúlín) などがある。老閘は1848年に英租界となり、1863年公共租界の一部となる。1945年日中戦争に勝利して区をつくる。吳淞江に架かる老閘橋、のちの福建路橋から区名採る。東は山西南路, 山東中路, 西は西藏中路, 南は延安東路, 北は吳淞江の範囲とした。1956年黄浦区へ併合される。嵩山は徐家滙路の以北で1900年と1914年2回にわたる仏蘭西租界の進出で占拠された地区。1945年日本軍に勝利して嵩山区をおいた。地区内に嵩山路があったので区名として採用した。盧湾区に嵩山路として今も残っている。この嵩山は河南省の嵩山である。東は浙江南路, 西藏南路, 西は重慶中路, 重慶南路と魯班路, 南は黄浦絵。北は延安東路と延安中路に挟まれた区であった。1956年盧湾区へ併合される。常熟は肇嘉浜路以北で1914年仏蘭西租界となった。1945年日本軍に勝利し、区内の常熟路から区名とした。東は狹西南路と日暉港, 西は興国路, 宛平路, 南は黄浦江。北は長樂路, 華山路へ至る範囲の区であった。1956年徐滙区へ併合される。江寧は1899年東部が公共租界, 西部が租界局の越界筑路区として扱った区である。1945年日本軍に勝利し江寧区とする。江寧局から採る。江蘇省の県名である。1960年廃区にするが, 新成区と静安区に分ける。その新成区であるが, 1899年公共租界となり, 1945年日本軍に勝利して区をおく, 区内に新閘路と成都路があったので頭文字合わせて区名とした。東は西藏中路, 西は興安路, 茂名北路, 南は延安東路。北は吳淞江に至る。1960年廃し東部を黄浦区, 西部を江寧と再び置いた静安区へ分割をする。

北站は1863年に公共租界の一部となる。1945年日中戦争勝利後に区をおく。北駅から転用する。東は宝山路, 河南北路。西は和田路, 南は吳淞江^{ホークン}。北は中山北路の枠内に入っている。1956年閘北区に併合。北四川路は租界の越界筑路に当る。1945年日中戦争勝利で区をおく。北四川路から区名

上海市の通稱地名について（藤島）

採用。1956年廃し虹口区へ併合される。提籃橋は1863、1899の兩年公共租界へ、1954年日中戦争勝利で区を設けた。提籃橋から区名とする。1960年虹口区に併合する。榆林も1863と1899の兩年公共租界となる。1945年日中戦争勝利で区をおく、榆林路から区名とする。榆林は陝西省北部の県名である。東は楊樹浦港、西は大連路に至り、北は控江路に至る。南は黄浦江に臨む。1956年北限を拡大して走馬塘までに至る。1960年楊浦区へ併合。これらは公共租界。英、仏租界などに関連のあった区名であるが、区名語源の多くは区内の路線名であったので、路名は残ったが区名は消失している。

①法華郷は長寧区の東南の法華鎮路からでている。もともこの路の545号に法華禪寺 (Fǎhuá Chánsì) があった。北宋の開宝3年(970) 建立、元、明、清代に修復、1930年大殿、兩廂などこわし、門前に新しい寺建てる。樹齡200年の古銀杏樹がある。法華鎮路は東の淮海西路、幸福路、番禺路、香花橋路、定西路、種徳橋路、楊宅路などと交差に西北の延安西路で終わっている。長さ1.78km。北宋代に同名小街があり、傍を李滌涇が流れていた。1958年李滌涇を埋立てる同小街と連同させて鎮路ができた。広誉堂、賛育堂、顎堂など古い形式の建物が残っている。なお、同名の法花橋は奉賢県の南橋鎮の西南7 kmにある。胡橋郷に属している。宋の時集落となった。ここに法華禪寺があったというが、今はない。明末清に鎮になる。紫牡丹の山地として知られる。街区に沿って下横涇があって兩岸に集落形成している。

②漕河涇鎮 (Cáo hé jìng Zhèn) のことで、徐滙区の管轄。面積7.6km²。元代は王家宅、明代は董家塘、張家聖堂、正徳年間に鎮となる。漕河涇港より鎮名となる。もとは上海市の竜華区、1956年に西郊区に併入、1958年に徐滙区へ、のち上海県に入っている。1984年再び徐滙区へ。老街は東西向きの集落で伝統的な家が残っている。今では漕河涇工業区 (Cáo hé jìng Gōng yè qū) として知られている。

③上海市圏には塘橋 (Tàng qiáo) の地名が4カ所程ある。1つは南市区の東南、黄浦江の東岸、塘橋路、塘橋新路の両側、もとは塘橋鎮。浦東南路付近の市場。貿易場。1949年塘橋、南泉。微山に新村ができる。塘橋路の往来激しくなる1913年の開削路である。路側は住宅区となっている。宝山県にも塘橋がある。滬太路と蘆藻浜の交叉地。鎮の北浜に塘橋があったので名となる。同じ宝山県の淞南郷には西塘橋がある。浦東に塘橋があるのでここは西塘橋とした。1949年集市となる。又、松江県の松江鎮の北9 kmの処にも塘橋がある。祥沢塘と通波唐の交滙地。

上海市の通稱地名について（藤島）

洞涇郷に属している。祥沢塘橋から塘橋になったという。

- ④高行（Gāoháng）は川沙県東溝郷，明代は高行市といった。地形が少し高くなっている微地形上の立地集落から名がついた。街区は楊高路の南北に分布。南行と北行にわかれている。水陸交通の要地。
- ⑤殷行（Yīnháng）は楊浦区の東北，殷行路が中心。東は黄浦江，西は世界路までの間。南は陸丁巷と五角場鎮付近まで。明代の嘉靖年間に上林苑録事に殷西溪の邸宅を建たことから名がでる。1920年より鎮，1927年に上海が市となるや殷行区とする。1937年日本軍進入焼失荒地となる。1942年日本軍飛行場を造成。1984年楊浦区に編入。古く殷行郷があつて殷行路となったという。住宅地，商店街並ぶ。
- ⑥馬橋（Mǎqiáo）上海県馬橋郷，華庄鎮の南8 km。俞塘と北沙港の交匯地。1950年代に集鎮となる。古く鎮の約2 km西に，山海鎮があつた。三国の呉の孫権か，かつてここに馬を飼育したと伝えられている。別説には鎮にかかる橋が馬の形しているともいう。海岸に遺跡がある。馬橋文化遺跡という。
- ⑦吳淞江（ごしょうこう，ウースンチアン，Wúsōng jiāng）

上海市の北西の河川。黄浦江の最大の支流。古く笠澤江，松陵江，松江といった。元の至元15年（1278）華亭府を松江府に改名した時から吳淞江とした。上海を商港として開港した時から上流が蘇州へ入るといい蘇州河と呼んだ。殊に蘇州繊維買入業者と呼稱より始つた河川名であるといわれ，蘇州河を俗稱という。宋代以降太湖口が閉じられ流路を変更し，似涇口（かけいこう）出て上海市内へ入り外白渡（がいはくと）橋に至り黄浦江へ入る。なお，吳淞口（ごしょうこう，Wúsōng Kǒu）は黄浦江が長江へ入る合流口を指す。宋代旧吳淞江の入江を吳淞口といった。明の永楽2年（1404）范家浜を浚渫して，外白渡橋の東の黄浦江へ合流させた。

3. 地区名と道路名稱

地区名の中には旧名と呼ばれ消失した区名について述べたが，租界関係の区名が多かつた。他に1945年日中戦争の勝利で都市区画の再編行い設定したが，のち廢区にしたものがある。竜華区(Lónghuá Qū)，新涇区(Xīnjīng Qū)，新市区(Xīnshì Qū)，江湾区(Jiāngwān Qū)，大場区(Dàchǎng Qū)，洋涇区(Yángjīng Qū)，高橋区(Gāoqiáo Qū)，楊思区(Yángsī Qū)がある。各れも今は用いてない。竜華は市の西南部，1927年には上海県の漕涇郷の北部で，1945年日中戦争勝利後に竜華区としている。区

上海市の通稱地名について（藤島）

内に竜華鎮があったので名稱となる。東は黄浦江，西は小浹港と竹港に至る。南は長橋港と春申塘へ至る範囲である。北は虹橋路と新涇区に接していた。1956年廃区して真如と新涇に分割した。その新涇であるが，1927年に蒲松区と法華区の西部から独立した。1945年日中戦争勝利後に新涇区となる。区内に新涇鎮があったので採名。東は滬杭鐵路，西は小浹港と江橋鎮の分界。北は吳淞江，虬江に至る範囲。1950年区界を調整し，1956年竜華と真如区に分け，のちに西郊区とする。真如区（Zhēnrú Qū）はもと宝山区の真如郷で1927年区となって上海へ帰属した。真如鎮から採名。東南は吳淞江，西は下槎浦で限られ嘉定県と接している。南は吳淞江と虬江，北は桃南へ^⑨至している。1949年界域を調整，1956年新涇，竜華両区を併せて西郊区（Xījiāo Qū）としている。1956年真如，新涇，竜華の3区を合併して成立させた。北は当時の北郊区，南は松江と上海の各県に接し，東は滬杭鐵路で市区（普陀，長寧，徐滙）と接し，西は嘉定と青浦の両県と接していた。1958年市区へ部分編入し，郊区の部分は上海，嘉定，宝山の三県に分割している。

新市区は市区の東北部。1927年の上海特別市の時は引翔区といった。1932年と1937年の2回の総攻撃で壊滅焼失した。1945年日中戦争勝利後に新市区とする。1927年以降に新しく造成した上海の市区の意を資める。東は黄浦江，西は沙涇港，南は公共租界の境界から北となる。北は虬江と接し，界泓浜や魏徳迈路（のちの邯鄲路）とも接している。1952年廃し江湾区へ併合される。江湾区（Jiāngwān Qū）はもと宝山区。1927年特別市が編成されて郷が区となる。上海市に帰属する。上海市の新興地と期待されるが，1932，1937の両年日本軍占領破壊する。1945年日中戦争勝利後，北部を江湾区とする。区内に江湾鎮があったので区名として採用。東は黄浦江，西は紀念路，俞涇浦。南は邯鄲路，水電路，広中路に至り，北は西棟橋，鵝饒浦へ至る。1952年新区を併合，1956年廃し吳淞，大場両区と併せて北郊区とする。大場区（Dàchǎng Qū）は，もと宝山区である。1945

上海市の通稱地名について（藤島）

年日中戦争勝利後に大場区とする。区内に大場鎮があったことに據る。上海市に属することになる。東は紀念路，俞涇路。西は中槎浦で嘉定県に接する。南は中山北路，北は蘆藻浜で宝山県と接している。1956年に吳淞，江湾両区を合併し北郊区（Běijiāo Qū）としている。北郊区は1956年吳淞と江湾と大場の3区合併して置いた区。東は黄浦江，西は宝山県と接し，西の一部は嘉定県に隣接した。東南は楊浦，榆林，虹口，閘北，晋陀の五市区に連なっている。西南は西郊区と接した。1958年東南部を市区へ入れ，残りの地域を宝山県へ帰属させている。

洋涇区（Yángjīng Qū）は上海市の東部。1927年区とした。区内に洋涇鎮があったからである。1945年日中戦争勝利後は陸行区へ併入。東は陸行以東を境とし川沙県に接し，西は黄浦江へ至る。南は海塘浜を境として南滙県，北は楊家溝と都台浦と接している。1952年西部の沿海地を東昌区へ入れる。1956年高橋，楊思両区を合併して東郊区をおく。東郊区（Dōngjiāo Qū）は黄浦江一帯を包含した区。1956年高橋，洋涇，楊思の三両を合併して東郊区とする。東は川沙，南滙に接し，西は黄浦江。南は上海県。北は長江口へ至っている。1958年東昌区と合併し浦東県をおく。高橋区（Gāoqiáo Qū）は1927年置いた区。区内に高橋鎮がある。1945年日中戦争勝利後高行区へ合併さる。東は椿樹浦，咸塘浜等の境で川沙県と接し，西は黄浦江。北は吳淞口と沿江塘岸へ至る。南は楊家溝及都台浦に及んでいる。1956年洋涇，楊思両区合併し東郊区となった。楊思区（Yángsī Qu）は上海市の南部であるが，黄浦江東岸といった方が解り易い。1927年区，区内に楊思鎮があったので区名とする。1945年日中戦争勝利後は塘橋区に併合される。のち改名され斯盛区となる。1950年再び楊思区となる。東は薛家浜の西で接し，西は黄浦江，南は楊思鎮の南，北は張家浜に及んでいる。1956年高橋と洋涇両区を合併して東郊区とした。

東郊区に合併した区に東昌区（Dōngchāng Qū）がある。黄浦江の東岸である。1952年洋涇区の西部に東昌区をおいた。区内に東昌路があったこ

上海市の通稱地名について（藤島）

とによる。北は慶寧寺の北，南は周家渡との東で接し，東北は沿浦東大道と接し，東は市建村に至り，東南は沿浦東南路を界としている。1958年東郊区と併合し浦東県をおいている。県名として消失したのは，この浦東県（Pǔdōng Xiàn）が唯一である。1958年上海市の東昌区と東郊区を合併しおいた県で，東の境界は川沙県，南は上海県，西は黄浦江を隔てて市区，西北は宝山県，北は長江口に至る。面積にし約160km²あった。1961年廃し，もと沿江の東昌区の一部を上海市の楊浦，黄浦，南市の三区へ併合させ，もとの東郊区の一部が川沙県へ併合させる。記述の都合で前後したのものもあるが，区名としては消失した地区名である。従って区名が通稱地名となるが，区名以外として残存している。例えば水上区はないが水上新村（Shuǐshàng Xīncūn）という地名はある。嘉定県嘉定鎮の滬宣公路趙涇橋の袂で，もともと水上民の生活地。1961年陸上定居地となって水上新村となったのである。蓬莱は蓬莱路，蓬莱公園の地名は残る。蓬莱は原来神話の中の仙山。蓬島とは仙島で，蓬瀛は蓬莱瀛州の略称で古くは渤海中の神山，のち転じて仙境を指している。類似の地名は山東，四川の各省に残っている。台湾を蓬莱島といったことがある。蓬は草名でよもぎ，莱も草名である。牛蒡（ごぼう）を指す地方もある。嵩山区の嵩山は嵩山路が発祥で今も残る。常熟区も常熟路は残る。勿論上海市区内のことで，もともと常熟市は江蘇省に在る。竜華区は区名ないが，竜華東路，竜華港，竜華公園，竜華路，竜華寺，竜華塔，竜華西路，竜華鎮と竜華港航道，竜華飛行場として用いられている。新涇は新涇と新涇河として用いられている。江寧は江寧路，江寧路橋として残る。真如は真如寺，真如站，真如鎮として残る。北站区は北站として残る。提籃橋が区から残る。榆林路も残る。新市区の新市南路は残る。江湾区は江湾，江湾江湾站，江湾鎮，江湾体育场として残る。もともと江湾区の方が新しい名称であった。区名の発祥経緯から見て，中心核の鎮の拡大範囲が区名と考えべきものと思われる。大場区の大場鎮は残る。北郊区の北郊站が残る。洋涇区は洋涇鎮，洋涇港套閘として

上海市の通稱地名について（藤島）

名をとどめている。楊思区は楊思水利樞紐工程，楊思鎮が残っている。東昌区は東昌路と東昌装卸公司へ名を残している。浦東はのちに経済特区に指定されることもあって多くの地名が残る開発区である。浦東，浦東大道，浦東公園，浦東南路などが残る。ちなみに上海市区内で用いられている区は次の通りである。黄浦，南市，盧湾，徐匯，長寧，閘北，静安，虹口，楊浦，普陀，宝山，閔行の各区。管轄の県は上海県（莘庄鎮），青浦県（青浦鎮），嘉定県（嘉定鎮），崇明県（城橋鎮），川沙県（城厢鎮）南匯県（惠南鎮），奉賢県（南橋鎮），金山県（洙涇鎮），松江県（松江鎮）等は現名である。

こうした旧名の消失名は租界地に多い。全てを列記する訳にいかぬが，旧名即ち通稱名と見做すと次のようなものがある。順序は漢語の字画順で，旧名，続いて新名，所属区を表している。八里橋路（Rue Palikao）雲南南路（黄浦区），三宝滝路（Samarang Rd），騰越路（楊浦区）。三姓路（Rue de Saigon）広西南路（黄浦区），三星路（Sansing Rd）平涼路1490弄（楊浦区），三泰路（Santai Rd）新泰路（閘北区），馬白路（Mapai Rd）新会路（普陀区），馬崎路（Moji Rd）句容路（静安区），馬霍路（Mohawk Rd）黄陂北路（黄浦区），馬浪路（Rue Brenier Montmorand）馬当路（盧湾区），馬斯南路（Rue Massenet）思南路（盧湾区），山達剛路（Sandakan Rd）定海路（楊浦区），広信路（kwanghsing Rd）広徳路（楊浦区），大華路（Majestic Rd）南滙路。大西路（Great western Rd）延安西路，大連湾路（Dalny Rd）大連路（楊浦区），大园路（Rue d'Arco）安亭路41弄（徐匯区）。大場路（Dazang Rd）崇明支路（虹口区），小沙渡路（Ferry Rd）西康路（静安，普陀区），小東門大街（Rue de la porte de L'est）方浜東路（南市区），天主堂街（Rue Montauban）四川南路（黄浦区），五柱球弄（Five Court Lane）天津路（黄浦区），鄧脱路（Dent Rd）丹徒路（虹口区），開答路（Quetta Rd）松潘路（楊浦区），開納路（Kinnear Rd）武定路（静安区），太古路（Rue Takou）高橋路

上海市の通稱地名について（藤島）

（南市区），巨福路（Route L.Dufour）烏魯木齊南路（徐滙区），巨籟達路（Route Ratard）巨鹿路（静安，盧湾区），巨澆來斯路（Route Dupleix）安福路（徐滙区），中央路（Central Rd）沙市一路（黄浦区），貝当路（Avenue Pétain）衡山路（徐滙区），貝勒路（Rue Amiral Bayle）黄陂南路（黄浦，盧湾区），貝梯鑾路（Rue Lieutenant petiot）成都南路（盧湾区），公園弄（Garden Lane）南京東路（黄浦区），公館馬路（Rue de Consutat）金陵東路（黄浦区），文監師路（Boone Rd）塘沽路（閘北，虹口区），文極司脱路（Winchester Rd）文安路（閘北区），元芳路（Yuenfang Rd）商丘路（虹口区），孔子路（Confucius Rd）延安東路（黄浦区），比亞士路（Pearce Rd）北翟路（長寧，上海縣），仁記路（Jinkee Rd）滇池路（黄浦区），戈登路（Gordon Rd）江寧路（静安，普陀区），憶定盤路（Edinburgh Rd）江蘇路（長寧区），水門汀路（Cement Rd）大田路（静安区），北河路（Peiho Rd）白河路（黄浦区），北門路（North Gate Rd）広東路（黄浦区），北揚子路（North Yangtze Rd）揚子江路（虹口区），東京路（Tongquin Rd）昌化路（静安，普陀区），東有恒路（East Yuhang Rd）東余杭路（虹口区），東新嘉路（East Sin Ga Rd）五台路（虹口区），東百老匯路（East Broadway Rd）東大名路（虹口区），東自來火街（Rue des Pères）永壽路（黄浦区），東漢璧礼路（East Hanbury Rd）東漢陽路（虹口区），東熙華德路（East seward Rd）東長治路（虹口区），市政府路（Shi Cheng Fu Rd）平江路（徐滙区），平濟利路（Rue Bluntschli）濟南路（盧湾区），石路（Shackloo Rd）福建中路（黄浦区），聖母院路（Route des Soeurs）瑞金一路（盧湾区），白克路（Burkill Rd）鳳陽路（黄浦，静安区），白利南路（Brenan Rd）長寧路（長寧区），白利囡路（Route Bridou）吳興路（徐滙区），白保羅路（Barchet Rd）新鄉路（虹口区），白賽仲路（Route Gustave de Boisezon）復興西路（徐滙区），白藻泰路（Rue de Bezaure）機庁路（南市区），白爾部路（Rue paull Beau）重慶中路（盧湾区），白爾路・北段

上海市の通稱地名について (藤島)

(Rue Eugène Bard) 順昌路 (盧湾区), 白菜尼蒙馬浪路 (Rue Brenier de Montmorand) 馬當路 (盧湾区), 台湾路 (Rue Formosa) 黄代路 (南市区), 台司德郎路 (Route P.Destelan) 広元路 (徐滙区), 台拉斯脱路 (Route R.Delastre) 太原路 (徐滙区), 寧興路 (Rue du Weikwie) 寧海東路 (黄浦区), 寧波路 (Rue de Ningpoo) 淮海東路 (黄浦, 南市区), 外灘 (The Bund) 中山東一路 (黄浦区), 立普路 (Leipo Rd) 新豐路 (静安区), 永安街 (Rue Laguerre) 永安路 (黄浦区), 滙山路 (Wayside Rd) 霍山路 (虹口, 楊浦区), 滙司林弄 (West end Rd) 西街 (虹口区), 漢城路 (Seoul Rd) 西湖路 (楊浦区), 漢璧礼路 (Hanbury Rd) 漢陽路 (虹口区), 竜江路 (Rangoon Rd) 竜江路 (楊浦区), 古拔路 (Route Amiral Courbet) 富民路 (静安区), 古神父路 (Route père Huc) 永福路 (徐滙区), 蘭路 (Lay Rd) 蘭州路 (楊浦区), 蘭維靄路 (Rue du Capitaine Rabier) 西藏南路 (黄浦, 南市, 盧湾区), 卡德路 (Carter Rd) 石門二路 (静安区), 加爾各答路 (Calcutta Rd) 杭州路 (楊浦区), 甘世東路 (Route G.kahn) 嘉義路 (徐滙区), 皮少耐路 (Rue Buissonnet) 寿寧路 (南市, 盧湾区), 華德路 (Ward Rd) 長陽路 (虹口区), 華記路 (Hwakee Rd) 永定路 (虹口区), 華竜路 (Route Voyron) 雁蕩路 (盧湾区), 華盛路 (Rue Voisin) 会稽路 (南市区), 華盛路 (Whashing Rd) 許昌路 (楊浦区), 華格皋路 (Rue wagner) 寧海西路 (黄浦区), 同孚路 (Yates Rd) 石門一路 (静安区), 安南路 (Annan Rd) 安義路 (静安区), 安東路 (Antung Rd) 丹東路 (楊浦区), 安和寺路 (Avenue Amherst) 新華路 (長寧区), 安納金路 (Rue Hennequin) 東台路 (盧湾区), 西貢路 (Saigon Rd) 丹陽路 (楊浦区), 西克路 (Sikh Rd) 広西北路 (黄浦区), 西藏路 (Tibet Rd) 西藏中路 (黄浦区), 西門路 (Rue de la porte de l'ouesy) 自忠路 (盧湾区), 西摩路 (Seymour Rd) 陝西北路 (静安区), 西愛咸斯路 (Route H,de Siéyès) 永嘉路 (盧湾区), 西自来火街 (Rue de Saigon) 広西南路 (黄浦区), 老闌路 (Louzar Rd)

上海市の通稱地名について（藤島）

山西南路（黄浦区），老北門街（Rue de la porte du Nord）河南南路（黄浦区），老靶子路（Old Range Rd）武進路（虹口区），呂宋呂（Luzon Rd）連雲路（黄浦区），呂班呂（Avenue Dubaiei）重慶南路（盧湾区），百老滙路（Broadway Rd）大名路（虹口区），西德路（Arthur Rd）旅順路（虹口区），垂田南路（Rued'Adina）安亭路（徐滙区），垂爾培路（Avnue du Roi Albert）陝西南路（盧湾，徐滙区），朱葆三路（Rue Chu Pao San）溪口路（黄浦区），地豐路（Tifeng Rd）烏魯木齊北路（静安区），祁齊路（Route Ghisi）岳陽路（徐滙区），吉祥街（Rue petit）江西南路（黄浦区），剛狄路（Kandy Rd）黎平路（楊浦区），剛達哈爾（Kandahar Rd）臨青路（楊浦区），興聖街（Rue de la Mission）永勝路（黄浦区），倫敦路（London Rd）黃山路（虹口区，閘北区），畢助路（Route Pichon）汾陽路（徐滙区），齊物浦路（Chemulpo Rd）江浦路（楊浦区），舟山路（Rue Chusan）竜潭路（南市区），湯恩路（Thorne Rd）哈爾濱路（虹口区），池浜路（Tszepang Rd）慈溪路（静安区），兆豐路（Chaoufoong Rd）高陽路（虹口区），邁爾西愛路（Route Cardinal Mercier）茂名南路（盧湾区），有恒路（Yuhang Rd）余杭路（虹口区），揚子路（Yangtsze Rd）中山東一路（黄浦区），光州路（Kwangchow Rd）広州路（楊浦区），勞合路（Lloyd Rd）六合路（黄浦区），舟山路（Rue Chusan）竜潭路（南市区），湯恩路（Thorne Rd）哈爾濱路（虹口区），池浜路（Tszepang Rd）慈溪路（静安区），兆豐路（Chaou foong Rd）高陽路（虹口区），邁爾西愛路（Route Cardinal Mercier）茂名南路（盧湾区），有恒路（Yuhang Rd）余杭路（虹口区），揚子路（Yangtsze Rd）中山東一路（黄浦区），光州路（Kwangchow Rd）広州路（楊浦区），絆道路（Rope Walk Rd）九江路（黄浦区），勞合路（Lloyd Rd）六合路（黄浦区），勞爾登路（RueL,Lorton）襄陽北路（静安，徐滙区），勞神父路（Rue du père Froc）合肥路（盧湾区），勞勃生路（Robinson Rd）長寿路（静安，普陀区），勞利育路（Route Camille Lorioz）泰安路（徐

上海市の通稱地名について（藤島）

滙，長寧区），杜浪路（Rue Tourane）福建南路（黄浦区），杜美路（Route Doumer）東湖路（徐滙区），杜神父路（Route Père Dugout）永年路（盧湾区），克能海路（Cunningham Rd）康樂路（閘北区），麦斯路（Route A Magy）烏魯木齊中路（静安区），麦辺路（MeBain Rd）奉賢路（静安区），麦陽路（Route Mayen）華亭路（徐滙区），麦根路（Makham Rd）秣陵路（閘北区），麦克脱路（Market street E）馬厅路（虹口区），麦克脱路（Rue du Marché）順昌路（盧湾区），麦克勞路（MacLeod Rd）淮陰路（長寧区），麦尼尼路（Route Marcel Magniny）康平路（徐滙区），麦底安路（Rue Vincent Mathieu）山東南路（黄浦区），麦特拉司路（Madras Rd）平凉路（楊浦区），麦克利克路（Macgregor Rd）臨潼路（虹口区），麦高包禄路（Rue Marco Polo）竜門路（黄浦区），麦特赫司脱路（Medhurst Rd）泰光路（静安区），麦賽爾蒂羅路（Rue Marcel Tillot）興安路（盧湾区），吳淞江路（Rue Ou Song Kiang）太倉路（盧湾区），庫倫路（Urga Rd）海倫路（虹口区），靈桂路（Route Lin Kuei）長樂路362弄（盧湾区），宋埠路（Sunfow Rd）松江路（黄浦区），閔行路（Rue Minhong）真如路（南市区），花園弄（Garden Lane）南京東路（黄浦区），陸家路（Avenue Rockhill）淮海西路（長寧，徐滙），阿爾盤街（Albury Lane）蟠竜町（虹口区），阿拉白司脱路（Alabaster Rd）曲埠路（閘北），瑪礼遜路（Morrison Rd）茂林路（虹口区），佑尼干路（Jernigan Rd）仙霞路（長寧区），伯頓路（Purdon Rd）彭沢路（虹口区），但里路（Delhi Rd）広徳路（楊浦区），汶林路（Route J,winling）宛平路（徐滙区），近勝路（Jansen Rd）景星路（楊浦区），極司斐爾路（Jessfield Rd）万航渡路（静安，長寧），李梅路（Rue Lemaire）望亭路（黄浦，盧湾）狄思威路（Dixwell Rd）漂陽路（虹口区），凱旋路（keswick Rd）凱旋路（長寧，徐滙），亨利路（Route P, Henry）新樂路（徐滙区），辛拉路（Simla Rd）唐山路（楊浦区），蘇州路（Soochow Rd）湖北路（黄浦区），蘇州河灘（Bund on the Soochow Creek）南蘇州路

上海市の通稱地名について（藤島）

(黄浦, 静安), 金神父路 (Route Père Robert) 瑞金二路 (盧湾区), 和平街 (Rue de la Paix) 平湖路 (南市区), 孟買路 (Bombay Rd) 河間路 (楊浦区), 孟德蘭路 (Mandalay Rd) 江陰路 (黄浦区), 孟神父路 (Rue du Père Mengniot) 永善路 (黄浦区), 法磊斯路 (Fraser Rd) 伊犁路 (長婦負区), 法華民国路 (Boulevard des deux Republicues) 人民路 (黄浦, 南市), 法蘭西外灘 (Quai de France) 中山東二路 (黄浦, 南市), 法租界外灘 (Quai de France) 中山東二路 (黄浦, 南市), 宝昌路 (Avenue Paul Brunat) 淮海中路 (盧湾, 徐滙), 宝建路 (Route Pottier) 宝慶路 (徐滙区), 茂海路 (Muirhead Rd) 海門路 (虹口区), 英華街 (Kin wo ka) 金華路 (黄浦区), 国富門路 (Route Kaufman) 安亭路 (徐滙区), 周家嘴路 (Point Rd) 周家嘴路 (楊浦区), 廟街 (Temple street) 山東中路 (黄浦区), 林肯路 (Lincoln Rd) 天山路 (長寧区), 典當街 (Rue Protet) 金門路 (黄浦区), 羅別根路 (Rubicon Rd) 哈密路 (長寧区), 魚行街 (Rue des Poissons) 嘉魚路 (南市区), 環竜路 (Route Vallon) 南昌路 (盧湾区), 茄勒路 (Rue Galle) 吉安路 (盧湾区), 拉都路 (Route R,T,dela Tour) 襄陽南路 (徐滙区), 奉典路 (Mukden Rd) 遼寧路 (虹口区), 欧嘉路 (Urga Rd) 海倫路 (虹口区), 居爾典路 (Route A,Charles Culty) 湖南路 (長寧, 徐滙), 朋卡路 (Bangkok Rd) 福寧路 (楊浦区), 鄭家木橋街 (Rue Tourane) 福建南路 (黄浦区), 京州路 (Rue Chinchow) 周浦路 (南市区), 閘路 (Shackloo Rd) 福建中路 (黄浦区), 南黄浦灘 (Quai de France) 中山東二路 (黄浦, 南市), 派克弄 (Park Lane) 百官街 (虹口区), 洋行街 (Rue du Whampoo) 陽朔路 (南市区), 洋涇浜灘 (Bund on the Yangkingpang Creek) 延安東路 (黄浦区), 姚主教路 (Route Mgr,Prosper Paris) 天平路 (徐滙区), 威妥瑪路 (Wetmore Rd) 壞德路 (楊浦区), 界路 (Boundary Rd) 天目東路 (閘北区), 界路 (Boundary Rd) 河南中路 (黄浦区), 施高塘路 (Scott Rd) 山陰路 (虹口区), 科爾貝路 (Colombo

上海市の通稱地名について（藤島）

Rd) 広州路（楊浦区），客拉契路（Karachi Rd）眉州路（楊浦区），客勃爾路（Kabul Rd）涼州路（楊浦区），樹本路（Route A.Jupin）建德路（盧湾区），趙主教路（Route Mgr,Maresca）五原路（徐滙区），荔浦路（Laipo Rd）新豐路（静安区），^{シンガポール}星嘉坡路（Singapore Rd）余姚路（静安区），哈同路（Hardoon Rd）銅仁路（静安区），洞庭路（Tongting Rd）唐山路（楊浦，虹口），愷自邇路（Rue Kraetzer）金陵中路（黄浦，盧湾），香港路（hong Kong Rd）香港路（黄浦区），愛根路（Aigun Rd）濟寧路（楊浦区），愛棠路（Route Adan）余慶路（徐滙区），愛爾近路（Elgin Rd）安慶路（閘北区），愛多亞路（Avenue Eduard V II）延安東路（黄浦区），愛文義路（Avenue Rd）北京西路（黄浦，静安），愛來格路（Rue Soeur All'egre）桃源路（盧湾，南市），愛麥虞限路（Route Victor Emmanuel III）紹興路（盧湾区），愛爾考克路（Alcock Rd）安国路（虹口区），海能路（Hannen Rd）海南路（虹口区），海勒路（Hailar Rd）海拉路（虹口区），海格路（Avenue Haig）華山路（長寧，徐滙，静安），海関路（Customs House Rd）漢口路（黄浦区），高恩路（Route A,Cohen）高安路（徐滙区），高乃依路（Rue Corneille）皋蘭路（盧湾区），高遜愛路（Route H,Cordier）高郵路（徐滙区），徐家滙路（Route de Zikawei）華山路（長寧，徐滙），徐家滙路（#974~1578）肇嘉浜路（盧湾，徐滙区），浦那路（Poona Rd）波陽路（楊浦区），桂陽路（Kueiyang Rd）貴陽路（楊浦区），格蘭路（Glen Rd）隆昌路（楊浦区），格羅希路（Route de Grouchy）延慶路（徐滙区），格洛克路（Rue Brodie A,Clarke）柳林路（盧湾区），鉄士蘭路（Route P,Destelan）広元路（徐滙区），晏芝路（Yates Rd）石門一路（静安区），峨嵋月路（Avenue Crecent）愚園路1203弄（長寧区），賈西義路（Route Cassini）泰康路（盧湾区），賈爾業愛路（Route Francis Garnier）東平路（徐滙区），倍開爾路（Baikal Rd）惠民路（虹口区），倍耐爾司路（Banares Rd）海州路（楊浦区），皋乃依路（Rue Corneille）皋蘭路（盧湾区），哥倫比亞路（Columbia Rd）番

上海市の通稱地名について（藤島）

愚路（長寧，徐滙），寬克路（Kirk's Avenue）寧波路（黃浦區），橋街（Bridge Street）四川中路（黃浦區），莫利哀路（Rue Molère）香山路（盧灣區），勒克諾路（Lucknow Rd）寧武路（楊浦區），原芳路（Yuenfong Rd）商丘路（虹口區），陶爾斐斯路（Route Dollfus）南昌路（盧灣區），黃浦路（Whanpoo Rd）中山東一路（黃浦區），黃浦路（Rue de Whanpoo）陽朔路（南市區），黃浦灘（The Band）中山東一路（黃浦區），黃陸路（Wonglo Rd）黃渡路（虹口區），黃浦灘路（The Bund）中山東一路（黃浦區），梅白格路（Myburgh Rd）新昌路（黃浦區），教會路（Mission Rd）福州路（黃浦區），教會街（Church street）江西中路（黃浦區），菜市街（Market street）馬厅路（虹口區），菜市街（Rue de Marché）順昌路（盧灣區），斜橋路（Love Lane）吳江路（靜安區），康梯路（Route Conty）建國東路（盧灣區），康朴爾路（Cownpore Rd）貴陽路（楊浦區），康腦脫路（Connought Rd）康定路（靜安區），淮爾蒙路（Rue Vouillemont）普安路（黃浦，盧灣），密勒路（Miller Rd）峨嵋路（虹口區），密索爾路（Mysore Rd）平定路（楊浦區），敏体尼荫路（Boulevard de Montigny）西藏南路（黃浦，盧灣，南市），望志路（Rue Wantz）興業路（盧灣區），球場弄（Five Court Lane）天津路（黃浦區），梁山路（Liang shan Rd）黑山路（楊浦區），薩坡賽路（Rue Chapasal）淡水路（黃浦，盧灣），其昌路（Keecheong Rd）建平路（黃浦區），惇信路（Tunsin Rd）武夷路（長寧區），廈門路（Amoy Rd）廈門路（黃浦區），領事館路（Cosulate Rd）北京東路（黃浦區），普恩濟世路（Route J.Prentice）進賢路（盧灣區），黑龍江路（Amur Rd）杭州路（楊浦區），紫來街（Rue Discry）紫金路（黃浦區），朝陽路（Chaoyang Rd）瀋陽路（楊浦區），善鐘路（Route de Sayzoong）常熟路（靜安，徐滙），斐倫路（Fearon Rd）九龍路（虹口區），蓬路（Boone Rd）塘沽路（虹口，閘北），奧礼和路（Rue Oriou）淵河口路（盧灣區），縉道路（Rope Walk Rd）九江路（黃浦區），博物院路（Museum Rd）虎丘路（黃浦區），賴

上海市の通稱地名について（藤島）

霍爾路 (Lahore Rd) 寧国路 (楊浦区), 喇格訥路 (Rue Lagrené) 崇德路 (盧湾区), 跑馬厅路 (Race Course Rd) 武勝路 (黄浦区), 新開河 (Place du Chateau d'Eau) 新開河南路 (南市区), 新橋街 (Rue Húe) 浙江南路 (黄浦区), 新康路 (Edward Ezra Rd) 沙市二路 (黄浦区), 新永安街 (Rue Colbert) 新永安路 (黄浦区), 新記浜路 (Singkeepang Rd) 新建路 (虹口区), 新聞橋路 (Stone Bridge Rd) 新橋路 (黄浦区), 福建路 (Rue Fokien) 楓涇路 (南市区), 福特弄 (Ford Lane) 福祿街 (楊浦区), 福生路 (Fohshun Rd) 羅浮路 (虹口区), 福煦路 (Avenue Foch) 延安中路 (黄浦, 盧湾、静安), 福開森路 (Route Fergasson) 武康路 (徐匯区), 福履理路 (Route J.Frelupt) 建国西路 (盧湾, 徐匯), 障碍街 (Barrier Street) 河南中路 (黄浦区), 雷米路 (Route Rémi) 永康路 (徐匯区), 雷上達路 (Route P.Legendre) 興国路 (徐匯, 長寧), 虞洽鄉路 (Yu Ya Ching Rd) 西藏中路 (黄浦区), 蒲石路 (Rue Bourgeat) 長樂路 (盧湾区), 蒲柏路 (Rue August Boppe) 太倉路 (盧湾区), 葛羅路 (Rue Barcon Gross) 嵩山路 (黄浦区), 碑坊路 (Monument Rd) 綏寧路 (上海県), 源昌路 (Yuenchang Rd) 體陵路 (虹口区), 窯樂安路 (Darroch Rd) 多倫路 (虹口区), 靶子路 (Rang Rd) 武進路 (閘北, 虹口), 熙華德路 (Seward Rd) 長治路 (虹口区), 辣斐德路 (Route Latayette) 復興中路 (盧湾, 徐匯), 静安寺路 (Bubbling well Rd) 南京西路 (黄浦, 静安), 赫德路 (Hart Rd) 常德路 (静安区), 赫司克而路 (Haskell Rd) 中州路 (虹口区), 檳榔路 (Penang Rd) 安遠路 (静安, 普陀), 縉朋路 (Thorburn Rd) 通北路 (楊浦区), 滿洲路 (Manchuria Rd) 晋元路 (閘北区), 察哈爾路 (Chahar Rd) 新華路 (長寧区), 慕爾鳴路 (Moulmein Rd) 茂名北路 (静安区), 墨克登路 (Mukden Rd) 遼寧路 (虹口区), 澳門路 (Macao Rd) 澳門路 (普陀区), 磨坊街 (Rue du Moulin) 盛澤路 (黄浦区), 霍必蘭路 (Warren Rd) 古北路 (長寧区), 薛華立路 (Route Stanislas Chevalier) 建国中路 (盧湾区), 燕子路

上海市の通稱地名について（藤島）

(Yates Rd) 石門一路（静安区），霞飛路（Avenue Joffre）淮海中路（盧湾，徐滙），載勞耐路（Route Delaunay）徳昌路（徐滙区），糜鹿路（Rue Millot）方浜西路（南市区），魏徳邁路（Wedmeyer Rd）邯鄲路（虹口，楊浦区），競華路（Jingwo Rd）人和街（静安区）等がある。各れの洋名も既に消失し旧稱となった。当時も通稱といった方が一般的であった。

①桃浦（Táo pǔ）古くは桃樹浦，桃溪といった。上海市の中央部，普陀区と宝山区を跨ぐ。かつてこの河江に沿って桃の樹か植えられていたという。長さ11.5km。南の虹江から真如，楊家橋を通過して滙藻浜へ出す。10 t級の船出入できる。農業用水として用いるが，汚染度合激しい。

4. 上海道路名稱と命名方式

上海市の馬路，街道と大街小巷，里弄などの名稱は2,000を超えと思われる。この路名にはいくつかの特徴がある。急速な都市の発展を背景に迅やかなる路名を必要としたことと，租界地の区画整理上既成の中国都市地名を引用し命名した。大陸内の省名，県名，鎮名，山岳名，河川名，関所名，港湾名等が採用^①された。時には東南アジアの地区名^②，都市名も命名した。上海式命名方という一大特徴をもっている。先ず英米租界地のちに公共租界地の名稱となるが，この他に仏蘭西租界地があつて都合三租界地の道路，特に租界地境界道路の命名方式から採って見ることにする。上海市の旧城区の北門外は開埠の時は河道網状に発達し，喬木と草原の低湿地の荒蕪地であつた。近代的な車馬路は全くなかつたといつてよい。最初の開削者英国は先ず都市づくり企画を始め「外僑」（この場合英人）「道路碼頭委員会」結成し，道路の門鑿し埠頭港湾施設の建設に乗り出した。新路名が次々に誕生したものの随意便宜的なものが多かつた。例えば沿路に沿つ花園をつくると，これに続く道が花園弄となつた。教会堂があると教会街，領事館があると領事館路，租界と旧城廂地区や荒涼たる境界は「界

上海市の通稱地名について（藤島）

路」とした。浜河道路（河川沿路）は通稱して灘路といい，蘇州河灘路とか洋涇灘路といった。大街道や主要路はともかく路地，小路になると俗稱で呼稱した。英租界内などは居住者の名前を小路とした。命名委員会は里弄までは手が廻りかねた。界路は勿論界内租界地でも同様な現象が起きた。英租界20年間の内に俗稱，名稱の里弄は漢語と英語の混用で構成された。その内小刀会起義などがあって租界内の路名が変改されたり，日本軍が進攻占拠で呼稱の変更を余儀なくされたものもある。内乱があると難民が崩落込む上海，儲話があると外国人人流民が出入りする上海，人口の急増で界内租界地は変貌した。上海最大の繁華街，商業大街の南京路ができる。（のち，南京東路，福建路となる）南京路は最初街路でなかった1850年英商会が発起人になって跑馬(Pǎomǎ，競馬)場兼花園を造成する。俗稱を拋(pāo)球場（投球場）といった。そこで黄浦江灘から競馬場へ通う一本の通路ができた。路面は拌（かきまぜる）黄砂と砂利を敷き，道端を花園にした。通道俗稱を花園弄といった。途中で市場が立った。1854年跑馬總會まで街路付近の地価上昇し，官庁街などオフィス街と化した。土地不動産投機事業担当者は阿片の売買より儲かると豪語した。1854年跑馬總會は新しい競馬場の建設を企業した。界境の西側，今の西藏中路の以東，北海路の以北，湖北路と浙江路の以西，芝罘路以南一帯の荒蕪地，低価格であることに著目し第二の競馬場を建設した。花園弄も更に西へ延びて新競技場と結びついた「馬路」とは馬道あると同時に競馬場への道の意がある。更に花園弄へ人口が集中し，両側は殆ど西欧武住居地と化した。外灘から馬路を西へ競馬場までが殷振を極める。西境再び地価上昇。租界地の拡大が抵抗のないままに西進する。1862年跑馬總會再々度企画として，新しい競馬場を建立する。第2競馬場放棄し商業街と化す。第3競馬場は租界外域の地で今の人民公園，人民広場に当時としては最大規模の競馬場といい，のちに是の地を跑馬庁と呼稱している。東側の花園弄も用いて競馬場へ入ったが，入出が多く需要に答えられるといい第3競馬場への街路を整備した。

上海市の通稱地名について（藤島）

古刹のある静安寺路經由道を設定した。英租界にとって最重要路とし、東西主要車馬道と位置付けた。商業地域としても高度の発展をする。一般に大馬路と呼稱し、英大馬路と通稱した。1960年代に入って花園弄内の英租界の占拠地域が固定化するや、道路系統の整理と整備が急速にすすめられ、道路呼稱設定が行われる。名稱については1862年より開始して英租界内路名に中国の省と市が命名されるようになる。1865年英米租界当局は道路名に関する議案を通過させ南北道路を中国省命を命名原則とする。東西道は中国内の主要都市名を命名することとしている。英租界における命名方式となる。但し、格子型の道路名については調整を必要とし、占有地が拡大すると従来の命名規定にとらわれないという経過変化を示すようになった。南北方向走向命名道路は以下の如く命名された。（主要路名のみ）

最初名	→	古 名	→	命 名 路
外 灘(ワイタン)		揚 子 路		揚 子 路
外 灘(黄浦灘)		圓明園路		上圓名園路
外 灘(黄浦灘)		嘉納蒙路		下圓名園路
橋 街		江 蘇 路		四 川 路 [®]
教 堂 街		江 西 路		江 西 路
界 路		河 南 路		河 南 路
廟 街		山 東 路		山 東 路
老 閘 路		山 西 路		山 西 路
石 路		福 建 路		福 建 路
蘇 州 路		蘇 州 路 [®]		南京路以北浙江路 南京路以南湖北路
錫 克 路		広 西 路		広 西 路
錫 克 路		雲 南 路		雲 南 路
錫 克 路		雲 南 路		西 茂 路

一方、東西方向道路についても次の如き命名がなされた。

上海市の通稱地名について（藤島）

最初名	→	古名	→	命名路
蘇州灘路		蘇州路		蘇州路
蘇州灘路		香港路		香港路 ^④
領事館路		北京路		北京路
領事館路		北京路		廈門路 ^⑤
寬克路		寧波路		寧波路
五柱球弄パーク(音訳)		天津路		天津路
花園路(派克弄)		南京路		南京路
馬路(マール)				
紆路		杭州路		九江路
海関路		漢口路		漢口路
佈道街		福州路		福州路
北門街		広東路		広東路，蕪湖路
洋涇浜灘路		松江路		松江路

これらの内南北路の内、揚子路は揚子江から圓明園路の圓明園は北京の名園名で非有名道路名である。第二次鴉片戦争で中英仏の軍事路となり破壊される。東西道路の Canton Road は広州市の旧稱である。漢語でも東西走向なら広州とすべきを広東路とした。「広東」は省名なのであるか、広東語、広東人など広い意味をもち広州が広東の代表であるということから広東が通稱でもあった。我が国などでも「広東の花売娘」といった流行歌は広州市を指していた。東西方向路には「格」件があり英租界20余の小路は上海地方の特色名を残し、新建設路には外地命名法（東南アジア地方命、都市名）を用いている。英租界と米租界は各々一定の独自性をもった命名規定をもっていたが1899年合併して公共租界となると、地域の拡大もあって命名法が実施できなくなり、欧米人の人名を道路とする方法が採用され東区と北区では、蓬路（文監師路、のち塘沽路）、愛而考克路（のち安国路）、西（熙）華徳路（のち長次郎）、威妥瑪路のち懷徳路）、克能海

上海市の通稱地名について（藤島）

路（のち康樂路）、阿拉伯司脱路（のち曲阜路）、稲明路（のち通北路）、漢壁礼路（のち漢陽路）、華徳路（のち長陽路）などがある。中国にとって侵略者名といわれ「侵華分子」名の命名と謂う。「蓬」の「文監師」は Willam Jones Boone のこと、文恵兼と名乗っていた。合衆国人の先達であったので自分の名を路名とした。記念路名と稱していた。愛而考克は阿礼国と名乗り英国駐在上海第二領事であった。路名となってから領事に昇任している。のち駐華公使となる。1848年よりの英租界の第1次租界地の拡張により、租界は中国の領土内の別国的行政を行った。所謂植民地独立自治を施行したので、「工部局」「巡捕房」「義勇隊」が結成され土地程章がつくられた。これら植民国家形成に功績あった人物も路名となった。西（熙）華徳は1861年～1876年英国駐滬総領事で、のち駐滬公使となっている。威妥瑪は1853年に英国駐上海の副領事で、のちに駐華公使となっている。同時に漢学者で英漢字典の編集もしている。克能海は旗昌洋行の合衆国商人の名である。

1865年英米租界は租界内の道路命名をなし大量の外国人名と地名を導入はじめた。実際の改名も含めた範囲は最初は黄浦江と蘇州河を境界とし泥城と涇浜（洋涇浜路 Ruede Yangking pang 延安東路）四条河流の間に限定して命名していたが、時を経るにつれて命名基準が崩れはじめる。更に1937年8月の蘆溝橋事件後に日本軍の上海市南下により、11月には上海市の中国域界も不明瞭となり、日本軍が統治を始め上海市政府が成立するや上海租界は孤島化する。1941年太平洋戦争へ拡大し英米が内部対立し日本軍が公共租界を占拠し、英米乃仏租界の行政的支配は終了する。1943年7月30日汪上海政府成立し、上海租界接收始まる。公共租界も接收。英米仏三国による西欧勢力撤退する。租界には多くの名称が残る。日本軍と汪政府は租界地を占拠。英米両国の間で既得権の争奪で対立、悪影響を残す。当時の施政者清朝は全く無力で対応策はなかった。傀儡汪上海政府は日本軍統治者と謀って英米風習の駐遂と旧租界地下の西方人地名及び道路名の

上海市の通稱地名について（藤島）

改稱を実施する。1943年10月汪政府は公共租界と仏租界及び越界（境界）路線を改める。「路名変更399条」を改める245条。公布，もとの公共租界と起界築路の「名稱変更第12条」公布して，公共租界地の45%改名，仏租界と起界築路の96%（実際134路名）が改められた。他に7つの英米仏名の地区名など肅清された。改名した主な道路名は次のようになる。

①愛多亞路（Avenue Edward VII，愛多亞はエドワード7世，英国国王名→大上海路と改める。のち延安東路）②林肯路（Lincoln Road，一天山路，③亞爾培路（Avenue du Roi Albert－咸陽路，のち陝西南路）④霞飛路（Avenue Joffre－泰山路－淮海中路・淮海東路），⑤敏体尼蔭路（Boulevard de Montigny－寧夏路－西藏南路），⑥麋鹿路（Rue Millot）－木瀆街－方浜西路）⑦畢助路（Route Pichon－汾陽路）⑧李梅路－（望亭街）⑨古拔路（Route Amiral Courbet）－富民街，⑩西愛咸斯（Route H.de Sieyes）－永嘉路などがある。亦，商業ビルや文化施設，娛樂施設の名稱と関係ある街路名も改名し原名に戻す命名が行われた。公館馬路－金陵路，礼查路（礼查飯店）－金山路。天主堂街－天台路。聖母院路－象山路。博物路－虎丘路，跑馬厅－武勝路となった。又，直接日本占拠地区以外であったが改名されたものに哥倫比亞路が番禺路，呂宋路が連雲港呂。星加坡路が余姚呂，百老匯路が大名路となった。他国名や他国地方名の改名を行った。將大西路（Great Western Road）も長安路とした。公共租界と中華街の分界を「界路」と謂っていたが天目路と改め，法華民国路（法は仏蘭西）路は仏租界と旧鼎城の境界路であったのを民国路と改めた。租界以前に用いていた中国人の伝説人物名による命名路は少なかったが，虞洽郷路を西藏路へ戻し，朱葆三路を再び溪口路へ戻している。

俗稱路名も改名をした。菜市街－順昌路。魚行街－嘉魚街。典當街－金門街。西自来火街－桂平路。磨坊街－盛沢街。小沙渡路－西康路としている。

その後，汪政府に據る上海市地名の改正や日本軍占拠による改名。租界地内の西洋地名の肅清と更なる改名運動が起きた。然し，1943年大規模地

上海市の通稱地名について（藤島）

名改革を実施するにしても、大陸内省名や市名を消失させるわけにいかぬと、中国地名は原則として延続させることになる。上海地方の地名特色の基本とした。1945年8月日中戦争終わり、汪政権も崩壊し国民党政府が南京へ戻り「復興旧業」のスローガンのもとに上海路名についても新しい方策を出す必要が要求された。同年11月と12月に市政府は一部の改名できるが、基本的には従来の路名を踏襲するといひ大部分の路名は汪代地名のまま残ることになる。市政府が路名として強調したのは以下の名称を路名へ導入せよと謂うことと、原来一つの街路に2～3の呼稱があったり、街道が接続していて路名の境界の不明なものについては、路線を接続させて相応の名称とすることであった。

第一の導入名称は「復興」「建国」「中正」「林森」で、国民党政府の復興と宣揚、偉大な業績の評価ということで、肇嘉路、大興路、西大興路の一部を復興東路、復興中路、復興西路と改めた。正陽路、嘉定路、象山路、黄山路は別に中正北一路、中正北二路、中西南一路、中西南二路と改めている。中正南二路は現在の石門一路、石門二路、瑞金一路、瑞金二路である。東泰山路、泰山路、廬山路は分けて林森東路、林森中路、林森西路としている。林森西路は現在の淮海東路、淮海中路、淮海西路である。この他浦西市区の大道を分けて中山一路、中山二路、中山南路、中山西路、中山北路を設けている。南通路は英土路とする。英土とは陳英土と陳其美のことをいう。第二は同名の名称を持たぬ街道が接続していた。租界地と華地の接点には多かった。これを併合して相応の名称として統一を行った。南京路、静安路を分けて南京東路、南京西路とした。北京路と大同路を分けて北京東路と北京西路とした。金陵路と臨安路と洛陽路（東段）を分けて金陵東路、金陵中路、金陵西路とした。安徽路と寧夏路と西藏路と北西藏路を分けて西藏南路、西藏中路、西藏北路とした。各れも基本的には原名に従い活用を企る程度の改名であった。中国各地の地名の集塊に努めて来た上海式地名命名法は変わらない。上海市の急激は市街地の拡大は地大

上海市の通稱地名について（藤島）

物博と呼稱されるように地名を見ても豊富多彩である。大都市上海を縦横に交叉する街道は日ますごとに増大，多くの新し道を創り，道路名も需要に応じて多彩となっている。

①地図参照

②檳榔路 penang Rd。マレーシア ジョージタウン。ペナンは現地名，拙稿；「檳城の街巷名について」（駒沢大学北海道紀要），や黒竜江路 Amur Rd. 原名は古くロシア語といわれたが，エベンキ族の「右側の河」の意，拙稿；「黒竜江河川地名考」（駒沢大学北海道紀要）。亜倫比亞路 Columbia Rd。コロンビアは国名。倍耐爾司路 Banares はベナレスでインドの聖都。倍開爾路 Baikal でロシアの湖名。星嘉坡路は Singapore でシンガポール。科隆市路は Colombo でコロンボ。客勃爾路カブール。直隸路は Chili Rd でチリー路，国名。孟買路は Bombay でボンベイ，孟徳蘭路は Mandalay でブマングレー，剛達哈爾 Kandahar はカンダハール，安南路 Annan はアンナン。西貢路は Saigon でサイゴン，加爾各答路は Calcutta でカルカッター，竜江路は Rangoon でラングーン。漢城路は Seoul で京城，山達剛路はサンダカン，などがある。呂宗街（Luzon）ルソン街はフィリピン北島。拙稿；「中国地名の地誌学的研究」北海教育社。1997。

②四川の名稱は現在の上海市に4つ程残る。①吳淞江上の「四川路橋」（Sìchuānì Qiáo）黄浦と虹口に跨る。古くは上海郵政局橋といった。1922年である。1945年現名，②黄浦中部に四川中路（Sìchuān Zhōnglù）がある。延長1.27km。1855年橋街といい，江蘇路といった。1865年四川路，1945年現名，③四川南路は黄浦江の南，延長0.37km，1860年つくる最初は天主堂街，1943年天文台とする，1945年現名，中間に天主教の若斐堂ある。中には洋涇浜天主堂という人もある。④虹口の西南部，1903年建築，北路は延長3 km。1946年現名。

③蘇州の地名は3ヶ所に残る。蘇州河と蘇州河航道，南蘇州路である。かつて蘇州名稱さかんであった。①古くは蘇州路を Soochow Rd といったのは，湖北路となっている。1854年造成。第2跑馬場跑道といい，1862年改建。初め浙江中路と合稱（蘇州路といった，北の方は俗に大新街，1865年湖北省より現名となる。②蘇州河灘は Bund on the soochow といい，のち南蘇州路となった。南蘇州路（Nánsū Zhōu Lù）北は吳淞江，黄浦と静安両区に跨る。東と西に区分される。東は中山東一路を出て円明園路，虎丘路，四川中路，江西中路，河南中路，山西南路，福建中路，浙江中路と交叉して，西は西藏路橋に至る。西側は黄河路を出て新橋路から成都北都，大田路と交叉し西は石門二路に至る。全長2.5km，1950

上海市の通稱地名について（藤島）

年に建築，吳淞江（蘇州河）河畔にあった蘇州路と西蘇州路を統一して現名となった。河航船舶の集散地，倉庫群，西側に住宅区がある。㊦蘇州路。のちの路浙江中路，浙江中路（Zhèjiāng Zhōnglù）南は延安東路と浙江南路より出て，北海路，広東路，福州路，漢口路，九江路，南京東路，天津路，寧波路，牛庄路，芝罘路，北京路，廈門路と交叉し，北は南蘇州路へ至る。延長1.33km。北側はかつて蘇州路といった。1865年浙江省の名をとる。㊧蘇州路のちの南蘇州路となった。㊨参照，㊩蘇州河については拙稿「上海市の古地名」駒沢大学北海道論集12号参照。㊪蘇州河航道（Sūzhōuhé Hángdào）江蘇州の蘇州市と崑山と上海市の青浦を経て嘉定，上海県等を通して市区へ入り外白渡橋を通して黄浦江へ出る航道。申蘇内港線航道に属している。上海市境まで53.6km。外白渡橋から中漕浦まで20.8km。兩岸に卸菜が並ぶ。航道は彎局，100 t 級多い。1日の出入船数6,000艘といわれる。

㊫香港路（Xiānggǎng Lù）黄浦区の北，東は円明園出て虎丘路，四川中路と交叉。西は江西中路に至る。長さ0.25km。1850年開削，1865年英軍が香港を占拠して記念に命名した。1949年金融業中心地。

㊬廈門路（Xiàmén Lù）黄浦区の北，南蘇州路を出て浙江中路。貴州路と交叉する。西は西路中路に至る。延長0.56km，1850年開削福建省の廈門の名を取る。住宅地区。

5. 仏蘭西租界と越界の道路

1865年英租界の道路命名方式に影響されて仏蘭西租界でも領域内完成型の道路命名方を考え街区を統括管理する機構をつくり出した。又，道路命名の原則として仏蘭西流の思想を基礎として地域の指導的機能を確立することを目ざした。仏蘭西租界（以後仏租界と略す）は1849年に設定され，1861年に第一次租界地の拡張が行われた。1874年に第一回の「四明公所事件」が起きた。仏租界の事務総局で寧波同郷会のある四明公所地^⑨（今の人民路と福建路の交差付近）に道路をつくり強行通行する事件がおきた。需要増加による交通の至便が理由であったが，上海の人びと猛烈に反対し，道路建設中止を要求した。しかし，仏国租界事務局は強制施行を実施した。1898年四明公所に基地を造成し，仏国の通道に抵抗したが，仏国は海軍と陸軍の駐屯兵を動員して四明公所を占拠したため，華人と市内戦となった。

上海市の通稱地名について（藤島）

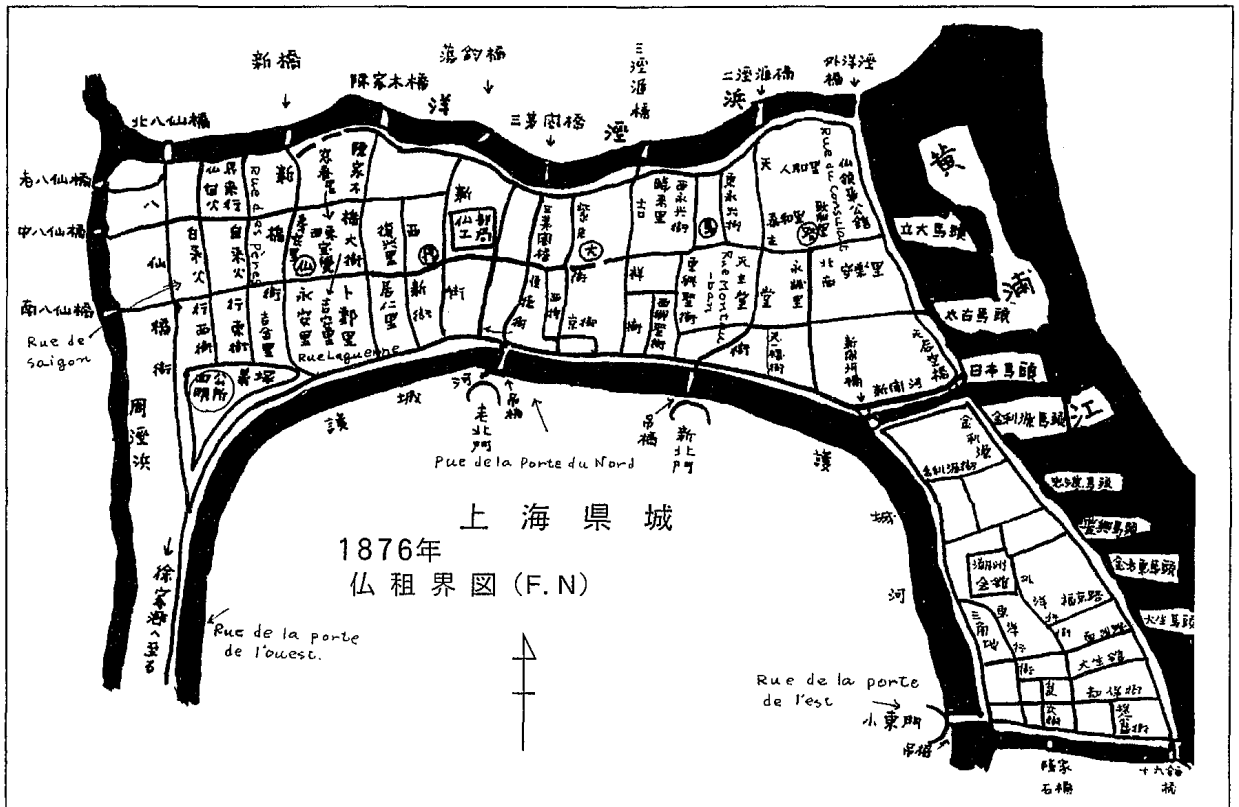
上海市の諸工場の従業員を罷業に入った。仏国の侵略占拠に対する闘争運動に発展した。この事態に清政府は内乱になることを恐れ、^{しゅうかい}周涇（のちの西藏南路）から重慶南路に至る地帯を仏租界へ給与、租界の拡張を認め、上海人の反対する四明公所返還して貰うことで落ち着いた。仏国は通道企画の発表により事実上租界の拡大化に成功した。1900年仏租界は第二次拡張を試みる。仏租界の東側は黄浦江なので一旦は遮断されていて、拡張するとなると当然租界の西部でと華人居住地の南部へ伸張させる以外方法はない。そこで大肆越界（境界）へ租界拡大の要求を上海当局へ提出する。1914年袁世凱政府は国内の反乱鎮圧の援助を条件にして拡張に同意し、かつ「蔵匿之乱堂」を引渡しなどを行っている。袁世凱は租界地の警護や区分についての協定まで締結している。特に外馬路は租界地管理者に依存している。北は長浜路（のちの延安中路、金陵西路）で、南は徐家滙路（のちの肇嘉浜路）までの間大地域を仏租界の警備範囲と定めた。この袁世凱による無責任な自国管理能力の放棄による仏租界の拡張を、第三次拡張と呼称している。当初入植した仏租界面積の20倍が仏国占拠地と化した。

最初の仏租界は上海県域と洋涇浜の間の東西に延びる狭長い地帯であった。仏国最初の駐滬領事敏体尼は赴任して直ちに、のちの四川南路と溪口路の間に仏国領事館を建設する。のち、この領事館を核として租界地が拡張する。1850年仏租界内の10人が指導者となる。もっとも敏体尼夫婦と2の子と母親や領事館通訳1人、商人1人、職員2人の構成で、他の指導者は英租界に居住していた。1860年代に入って洋涇浜近くへ天主教の若斐堂（教会）を落成（領事館の背後隣接）し、租界地内が充鎮して来る。同年外灘の黄浦灘馬路を造成して領事館と通道させる。これを領事館路といったが、建設時は「公館」[®]路といい、「公館馬路」と呼称したといわれている。公館から黄浦江へ抜ける道路が開かれ海外から物資流通が容易となった。1862年に仏租界に行政機関として公董局（監督局）が独立建築物として造成される。領事館の西側の拡張域に建てられるので、公館馬路は今の

上海市の通稱地名について（藤島）

四川南路を経て公董局前へ繋がった。河南中路まで仏租界域となる。1865年仏租界内に来火行（煤氣庁）という石炭に據るガス化火力発電所が創設される。公館馬路から更に西の自来火行（発電所）^⑨まで延長する。のちの広西南路口である。新しい施設は常に西境拡大地に設けられ仏租界は越界の試みがなされる。1900年には周涇を埋めて河の上を道路とした。のちの西藏南路である。路面は最初碎石であったが、英租界の中区と仏租界の東部とが繋がり、公館馬路の商業が繁栄し不動産価値急上昇した。仏租界最大の大街となり、英租界の英大馬路と並んで仏租大馬路と呼稱された。公館馬路を挟んで大規模建築物が造成され路面も舗装された。法租界の中核をなす諸行政機関が集中した。但し、建築物は両側商店街の庇が要求され仏式という騎楼式が規定された。亭仔脚である。仏式というより古く華南では騎楼式が当時一般であった。東西貫道の公館馬路は両側が商店街で狭く往来激しくなり、宮繕修理が繰り返された。ただ、狭長い地帯であるため南北小路の発達は少なく、里弄式の小路は東西向小路となった。公館馬路の南は華人専有の県城域であったので、抜け道というような小路が県城とつながった。のちの四川南路も一時孟闖班路、河南中路もト羅徳路、帝王路などと呼稱されたことがある。県城内街巷と繋がった小路には次のようなものがある。永安町（のちの新永安路、以下のちの名稱）、老安街（新永安路）、興聖町（永勝路）、吉祥街（江西南路）、帶來街（紫金路）、老北門大街（河南南路）、典當街（金門路）、帶鈎橋街（山東南路）火輪磨町（盛沢路）、鄭家木橋行（福建南路）、東新橋街（浙江路）、東自来火街^⑩（別に来火行、のちの永寿路）、西自来火街（別に自来火行西街、のちの広西南路^⑪）、八仙橋街（雲南南路）、寧興街（寧海東路）となっている。これらの地名の原名は県城地方郷に端を発し特色のあったものであるが租界地となって消失してしまった。但し、周涇以西は仏租の第二次拡張範囲に入り、既述の東部命名方式とは異なった。この租界地命名方式は南北向道路に中国国内の都市名、山岳名を付け、東西向き道路については中国国

上海市の通稱地名について（藤島）



内の都市名と河川名を命名している独特の呼稱をしている。南北向道には次の道路名がある。中国国内名を東から西に向い命名していった。天山路，泰山路，梅林山路，墓山路（墓地へ向う）孤山路，漢山路，仙山路，桂林山路[®]，嵩山路，峨嵋山路，狼山路，衝山路，華山路がある。東から西へ向かって河川名を路名に命名したものに次のようなものがある。洋涇浜路，浏江路，淮河路，西江路，漢江路，閘江路，竜江路，湘江路，吳淞江路，黄河路，珠江路，鳥江路，雅礮江路，桂江路などである。仏租は更に租界西境を越えて界外の道路も新築し命名道路は南へ下った。1900年以降の境界路には原則として仏蘭西人の人名を命名した。主なものは次の如くである。宝昌路，華流路，杜美路，畢助路，薛華立路，巨籟達路，福開森などである。1906年仏租界の公董局は街巷の再編成と大改修を行い原名の中国山岳，河川道路を仏蘭西人の人名に改名した。原名華山路→改名白爾部路[®]（以下同形式）徳山路→薩坡賽路，狼山路→白菜尼蒙馬浪路[®]，峨嵋山路→貝勤路[®]，仏山路→李梅路。孤山路→淮爾蒙路。天山路→格洛克路。

上海市の通稱地名について（藤島）

寒山路→平済利路。梅林山路→茄勤路。泰山路→安納金路がある。一方河川名路は洋涇浜路→佗自爾路。柳江路→華格皋路^㉑。西江路→宝昌路^㉒。閩江路→愛来格路^㉓。湘江路→皮少耐路。芷江路→華成路^㉔。烏江路→奧礼和路^㉕。桂江路→麋鹿路。雅礮江路→葛羅路，黄河路→喇格納路。竜江路→白爾路とした。県城と洋涇浜の間の狭長い仏租界の東部は改名せず上海地方の郷土色を残した地名としている。これら仏租界の仏蘭西人名の命名についても、いくつかの命名方式があったことが知れる。しかし乍ら各れの仏蘭西式命名地名は消失し、記録として残るのみである。これらは所謂通稱名として扱った。解放後は特に経済特区を除いて地名の大改革を実施していないので、基本的な命名方式は上海式といわれる中国国内地名の蒐集集積地である。なお併せて拙稿「上海市の古地名」及び「租界年代の地名」等参考にさせていただければ幸甚である。

- ①四明公所 (Sìmíng Gōngsuǒ) 南市区の西北，仏租界図の西北，人民路の852号，俗に「寧波會館」という。寧波四明山より名を取る。清の嘉慶2年(1797)滬鄞が敷地(30畝)買入れて柩のおく館と塚をつくる。嘉慶7年には正殿と廊下と公所を建立する。同治13年(1834)仏租界は馬路を造成するので公所など撤去せよという。群衆抵抗し仏軍水平7名を死傷させる。光緒24年(1898)仏蘭西は強制的に撤去を始める。上海市民ストライキ，暴動となる。再び仏海軍の水平17名死傷。上海市民は西欧帝国主義反対の拠点とする。現在中学校がある。
- ②公館馬路は Rue du Consulat といったが，のち金陵東路となる。金陵東路 (Jīnlíng Dōnglù) は黄浦区では東西幹道の1つ。中山東二路から出て永安路，四川南路，永勝路，江西南路，紫金路，河南路，山東南路，盛沢路，福建南路，浙江南路，永寿路，広西南路，雲南南路と交叉して西は西藏南路と金陵中路に至っている。延長1.4km。1860年建設。仏国総領事館が投資したので，「公館馬路」といった。別名を仏大馬路といった。1943年南京の古稱である金陵路に改めて，1945年現名。両側に溝が発達騎楼式商店街となっている。
- ③自来火街は武昌路 (Wǔchāng Lù) となっている。虹口区の西南。東は黄浦路の西南から大名路，長治路，吳淞路，四川北路へ出て西は江西北路に至る。武昌とは湖北省の地名。東武昌路と西武昌路に分かれている。広東街ともいった。東に倉庫が多く西に旧式の里弄が残っている。

上海市の通稱地名について（藤島）

- ④永寿路（Yǒngshòu Lù）黄浦区の南。南の人民路から淮海東路，金陵東路，寧海東路と交叉して北は延安東路まで入る。延長0.44km。1865年自来火行ついたので東自来火街とした。のち永年街とする。1943年陝西省の県名として永寿とする。衣服の露天商があることで知られた。
- ⑤広西南路（Guǎngxī Nánlù）黄浦区の南。南は淮海東路から出て，金陵東路，寧海東路と交叉して，北は延安東路と接した広西北路へ至る。延長0.42km。1865年仏蘭西商人自来火（石炭火力発電）公司つくる。最初西自来火街という。のち古名の桂平路とか三姓路を使う。1945年広西省にする。但し，のち広西は広西壮族自治区と区名となる。
- ⑥桂林路（Guīlín Lù）徐滙区の西，北は宣山路から田林路，漕宝路と交叉して，南は上海師範大学へ出る。延長1.43km。1954年に建設，西側に桂林公園がある。近くに田林路（Tiánlín Lù）この付近は広し西壮族自治区の名称が多い。宣山路や蒼梧路，田林，桂林，桂林山路，桂林公園などがそれである。
- ⑦白爾部路は Rue Paul Beau で，のち重慶中路となる。重慶中路（Chóngqìng Zhōnglù）盧湾の北，金陵西より出て重慶北路と接し，長楽路と交叉して南の淮海中路へ入る。延長0.2km。1901年の建設，最初は華山路といった。1906年に Rue Paul Beau とした。1943年四川省からの名とする。4大直轄都市の一つ。三峡ダム工事の中心地，この道の南には重慶南路がある。盧湾区にある四川省関係名は重景の他に成都（北路，南路），錦江飯店，等がある。
- ⑧白菜尼蒙馬浪路は Rue Brenier de Montmorand といい，馬当となる。馬当路（Mǎdāng Lù）盧湾に入っている。北は金陵西路から淮海中路，興安路，太倉路，興業路，自忠路，復興中路，合肥路，建国東路と交叉し，南は徐滙路へ至る。延長1.93km。1898年着工，1925年合肥へ，1972建国の南段，1985年建国東路至完成，最初の名は狼山路とする，のち Rue Brenier de Montmorand となり，1943年江西省の名取る。
- ⑨貝勒路は Rue Amiral Bayle といい，のち黄陂南路となる。黄陂南路（Huángpí Nánlù）は黄浦と盧湾両区に跨る。北は延安東路，黄陂北路，寧海西路，金陵中路，淮海中路，興安路，太倉路，興業路，自忠路，復興中路，合肥路，建国東路，永年路と交叉，南は徐家滙路へ至る。延長1.85km。1901年建設，初めは峨嵋山路という。1906年貝勒路 1943年湖北省より取り現名とする。
- ⑩華格皋路は Rue Wagner という。寧海西路となる。寧海西路（Jīnlíng Dōnglù）黄浦区の南，東は西藏南路と寧海東路から出て竜門路，晋安路，望亭路，嵩山路，黄陂南路と交叉，西は連区も路に入っている。延長0.69km。1892年仏租界境界を越えて造成，最初の名華格皋路，1943年浙江省の寧海県名より。194年現名。古式の楼房と旧式の石庫門家屋多い，両側住宅地。

上海市の通稱地名について（藤島）

⑪宝昌路 (Avenue Paul Brunat) は、のち淮海中路となる。淮海中路(Huáihǎi zhōnglù) 上海の中央を東西に貫く主要道の1つ。盧湾, 徐滙, 長寧の3区にかかる。東は西藏南路と淮海東路に発し, 竜門路, 嵩山路, 黄陂南路, 淡水路, 重慶南路, 思南路, 瑞金一路, 瑞金二路, 茂名南路、陝西南路, 常熟路, 復興中路, 烏魯栢中路, 余慶路と交叉し, 西は華山路に接して淮海西路へ至る。延長5 km。最初は西枝路, 古くは宝昌路, 霞飛路, 泰山路, 林森中路といった。1950年の淮海戦没ののち現名, 常熟路以東上海の最繁栄地, 東北部に淮海公園がある。路名から公園名となる。1860年外橋墓地。1957年墓移し公園とする, 又, 陝西の南口に淮海坊 (Huáihǎifāng) がある。1924年建てる。旧名霞飛坊という。1949年現名, 三階新式樓房の街並み。

⑫愛来格路 Rue Soeur Allègre といい, 桃源路となる。桃源路 (Táoyuán Lù) 市の中部, 南市と盧湾へ跨る。東の桃源新村から西藏南路と交叉し, 普安路まで至る。延長0.35km。古く北諸家橋といい, 八仙橋路ともいった。西段は1902年つくり, 最初閩江路, 1906年愛菜格路, 1909年東西合併, 愛菜格路, 1943年湖南県名の現名となる。

⑬華成路 (Huàchéng Lù) は吳淞区の東, 2本あり, 1本は鴉片戦争で死んだ清の江南水師提督の陳化成の命名, もう一本は砲台湾から吳淞鎮へ至る石の道。これは吳淞の砲台へ弾をうち込む要道, 更に南は石皮弄から北の宝山廂鎮忠の忠愍公道。延長213m。

⑭奥礼和路 (Rue Oriou) は淵河口路となる。淵河 (Liú Hé) は別に劉河。劉家河といい, 原名を婁江といい, 古代太湖下流の三江の一。淵河沙は宝山嘴付近にあり, 長江口の南港水道のほぼ中間の槽を指し, その陰に入っている沙浜をいった。もとは白茆沙の沙尾であった。1900~1912年水が横向きとなり切割ができ, 50年代長港河口の南港水道の中央砂洲とつながる。60年代再び中央砂洲から離れ独立する。形は馬蹄形となっている。

参考文献 ; 拙稿 ; 「上海市の古地名」駒沢大学北海道論集第11号, 拙稿「中国地名の地誌学的研究」北海教育社。1997. 拙稿「上海市地名誌 (租界地前後)」中国地名解No. 8. 1998. 高橋孝助, 古厩忠夫編 : 「上海史」東方書店。1997.

上海市の通稱地名について (藤島)

上海市区内で利用した国内外地名分布図 (F.N)

(江蘇, 浙江の地名 約40%)

